

東京都の医療費等の現状

第 1 回 東京都医療費適正化計画検討委員会

(平成 29 年 7 月 21 日)

目次

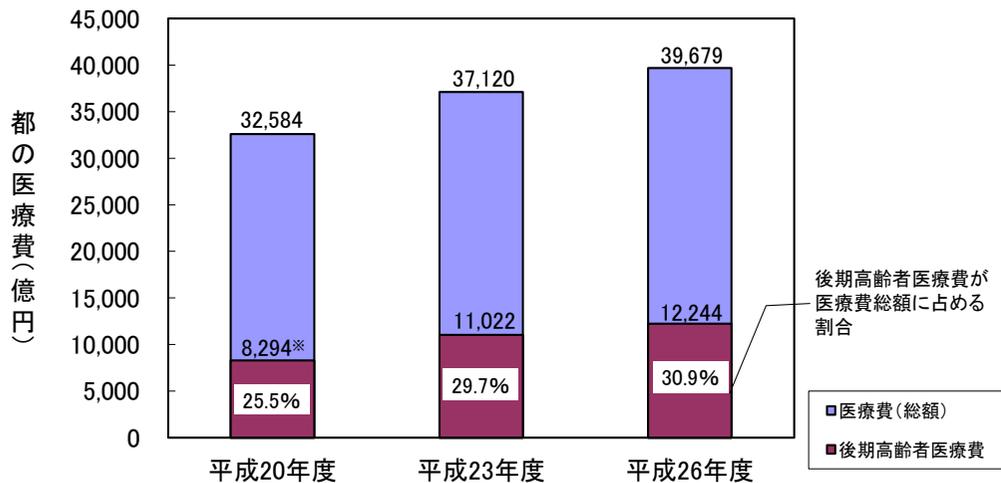
| | | | |
|---|----|-----------------------------------|----|
| 1 東京都の医療費の現状 | 1 | 7 糖尿病外来医療費の分析 | 26 |
| (1) 東京都の医療費の推移..... | 1 | (1) 1人あたり医療費・受診率・日数・診療費..... | 26 |
| (2) 1人あたり医療費の全国比較..... | 2 | 8 特定健康診査・特定保健指導の実施状況 | 30 |
| 2 後期高齢者医療費の状況 | 3 | (1) 特定健康診査実施率..... | 30 |
| (1) 後期高齢者医療費の全国比較..... | 3 | (2) 特定保健指導実施率..... | 31 |
| (2) 後期高齢者医療費の都内比較..... | 5 | (3) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合..... | 32 |
| 3 医療施設数の状況 | 7 | 9 後発医薬品の使用状況 | 34 |
| (1) 人口10万人あたり医療施設数..... | 7 | (1) 後発医薬品薬効別数量シェア..... | 34 |
| (2) 人口10万人あたり種別病床数..... | 8 | (2) 後発医薬品薬効別切替効果額..... | 35 |
| 4 全国保険制度別年齢構成と疾病構造の状況 | 9 | 10 医薬品の投与に関する分析について | 36 |
| (1) 全国保険制度別年齢構成..... | 9 | (1) 同一月内に同一成分の薬剤を投与された患者の割合..... | 36 |
| (2) 全国保険制度別疾病構造..... | 10 | (2) 同一月内に複数種類の薬剤を投与された患者の割合..... | 36 |
| 5 東京都国保疾病別医療費データから見る疾病状況 | 13 | | |
| (1) 疾病大分類別に見た概況..... | 13 | | |
| (2) 疾病中分類別に見た概況..... | 18 | | |
| 6 東京都生活習慣病疾病別1人あたり医療費（国保・後期） | 21 | | |
| (1) 東京都の生活習慣病の疾病別1人あたり医療費変動..... | 21 | | |
| (2) 生活習慣病受診率の特徴..... | 24 | | |

1 東京都の医療費の現状

(1) 東京都の医療費の推移

平成26年度における都の医療費総額は3兆9679億円、後期高齢者医療費は1兆2244億円となっており、後期高齢者医療費は医療費総額の約31%を占めている。

東京都の医療費（患者住所地別）と後期高齢者医療費の推移

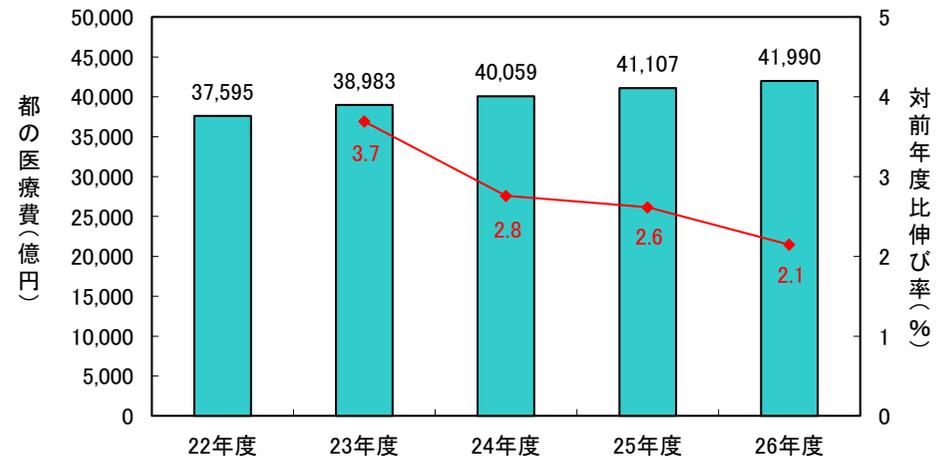


※平成20年度の後期高齢者医療費は平成20年4月から平成21年2月までの11ヶ月分に係るものである。

出典：『国民医療費』（厚生労働省）（都道府県別医療費は3年ごとに公表）
『後期高齢者医療事業状況報告』（厚生労働省）

注：歯科・調剤を含む。

〔参考〕東京都の医療費（医療機関所在地別）と対前年度比伸び率

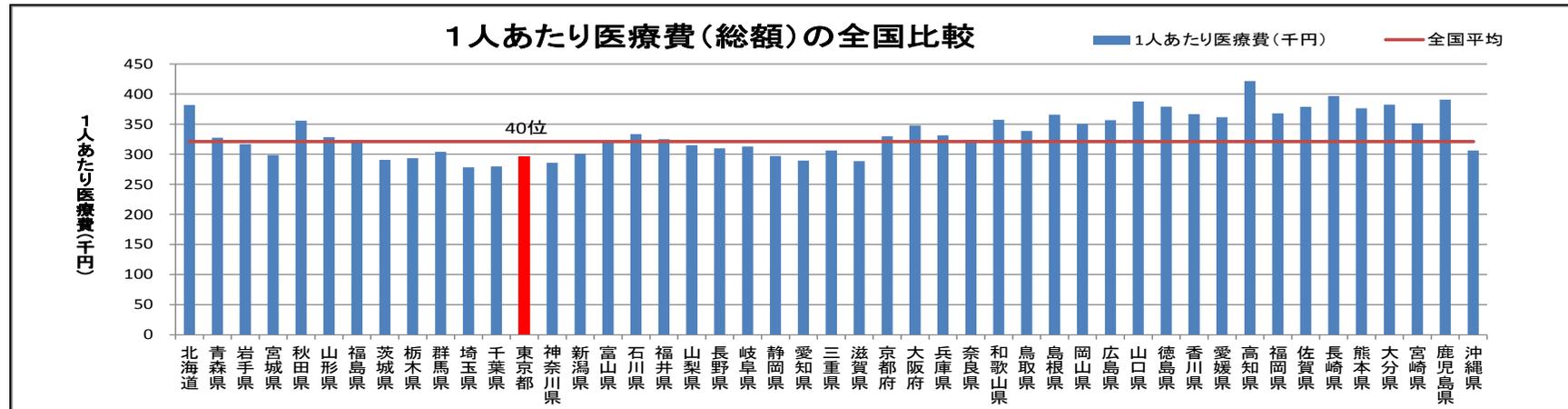


出典：『概算医療費データベース』（厚生労働省）

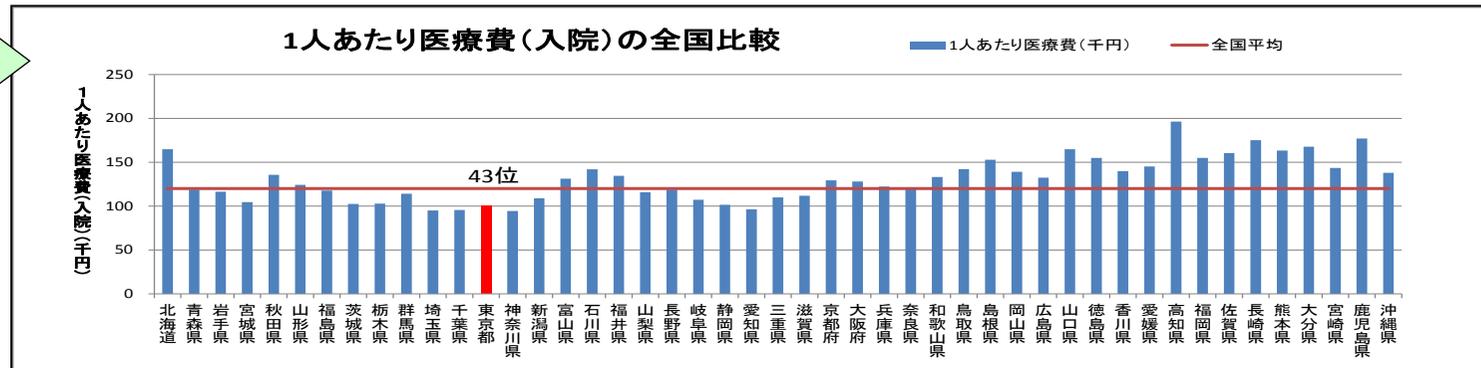
- 注1. 社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会における審査分の医療費を概算医療費として集計。
- 注2. 医療機関の所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行ったもの。
- 注3. 歯科・調剤を含む。

(2) 1人あたり医療費の全国比較

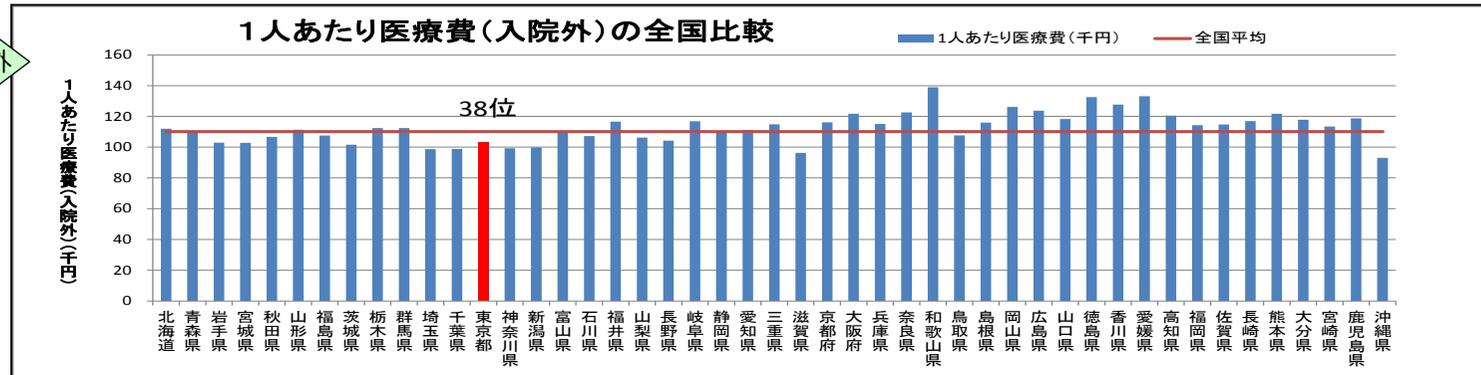
平成26年度における都民1人あたり医療費(総額)は296千円で、全国平均(321千円)よりもやや低く、全国比較順位は40位となっている。



入院



入院外



出典:『国民医療費』(厚生労働省)平成26年度

注1:「1人あたり医療費」=平成26年度都道府県別医療費(『国民医療費』)÷平成26年度都道府県別推計人口(総務省統計局)

注2:医療費(総額)は歯科及び調剤を含んでいるが、医療費(入院・入院外)には含まれていない。

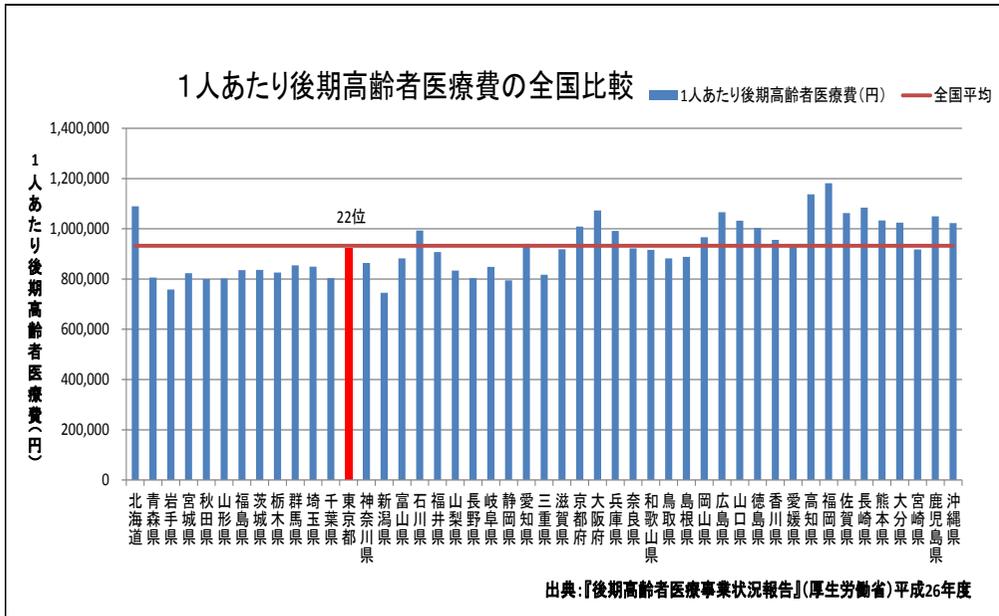
2 後期高齢者医療費の状況

(1) 後期高齢者医療費の全国比較

平成26年度における都の1人あたり後期高齢者医療費は**921千円**で、全国平均(932千円)と同程度であり、全国比較順位は**22位**となっている。

- 注1 一人あたり後期高齢者医療費＝後期高齢者医療費／後期高齢者被保険者数
 注2 一日あたり後期高齢者医療費＝後期高齢者医療費／診療実日数
 注3 一件あたり日数＝診療実日数／診療件数
 注4 受診率(100人当たり件数)＝診療件数／後期高齢者被保険者数×100
 (後期高齢者医療費・診療実日数・診療件数は平成27年度合計、後期高齢者医療被保険者数は26年度平均の数値)

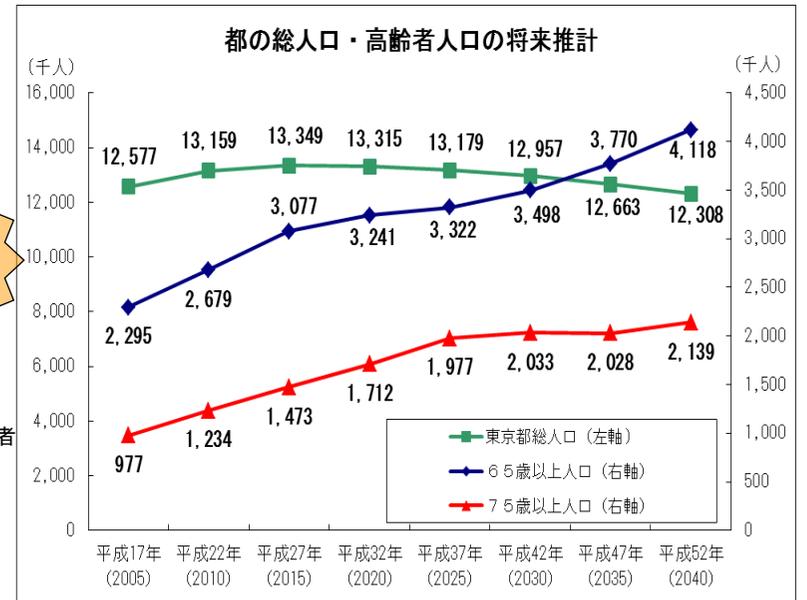
2005年から2025年までの20年間で、75歳以上人口が2倍超に！



注: 歯科及び調剤、療養費等全て含む

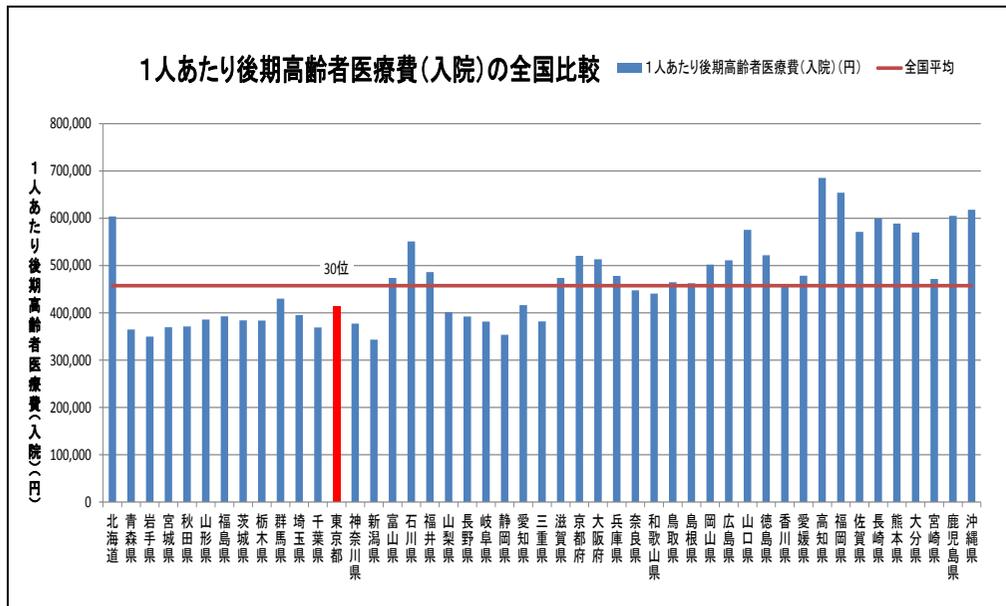
1人あたり後期高齢者医療費は若人(169千円)の約5.5倍!

出典:『国民医療費』(平成26年度)
 注:「若人」=65歳未満の者



①入院

…全国比較順位 30位 (412, 183円)

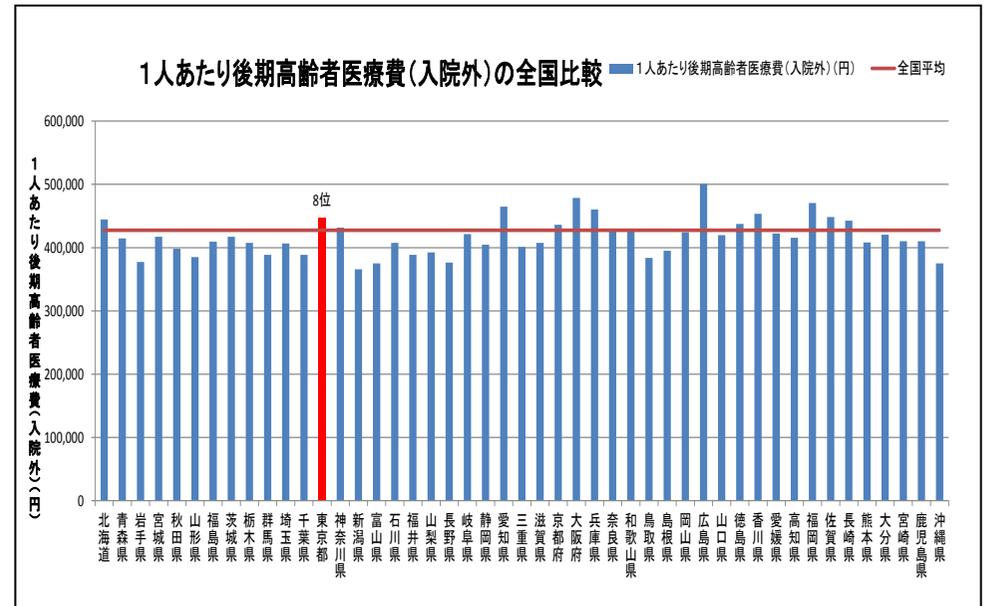


注 入院による生活・食事療養等含む。

| 区分 | 入院 | 順位 |
|----------------|----------|----|
| 1日あたり高齢者医療費 | 34,410 円 | 3 |
| 1件あたり日数 | 16.62 日 | 44 |
| 受診率(100人当たり件数) | 72.06 件 | 33 |

②入院外

…全国比較順位 8位 (447, 410円)

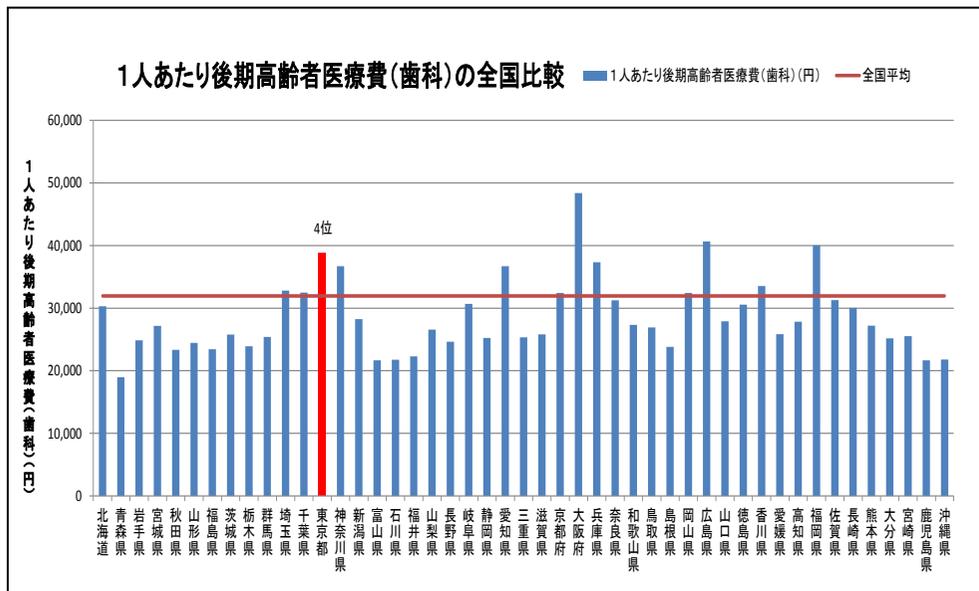


注 調剤を含む。

| 区分 | 入院外 | 順位 |
|----------------|------------|----|
| 1日あたり高齢者医療費 | 14,034 円 | 24 |
| 1件あたり日数 | 1.91 日 | 22 |
| 受診率(100人当たり件数) | 1,669.90 件 | 10 |

③歯科

…全国比較順位 4位 (38, 857円)



注 歯科による生活・食事療養等含む。

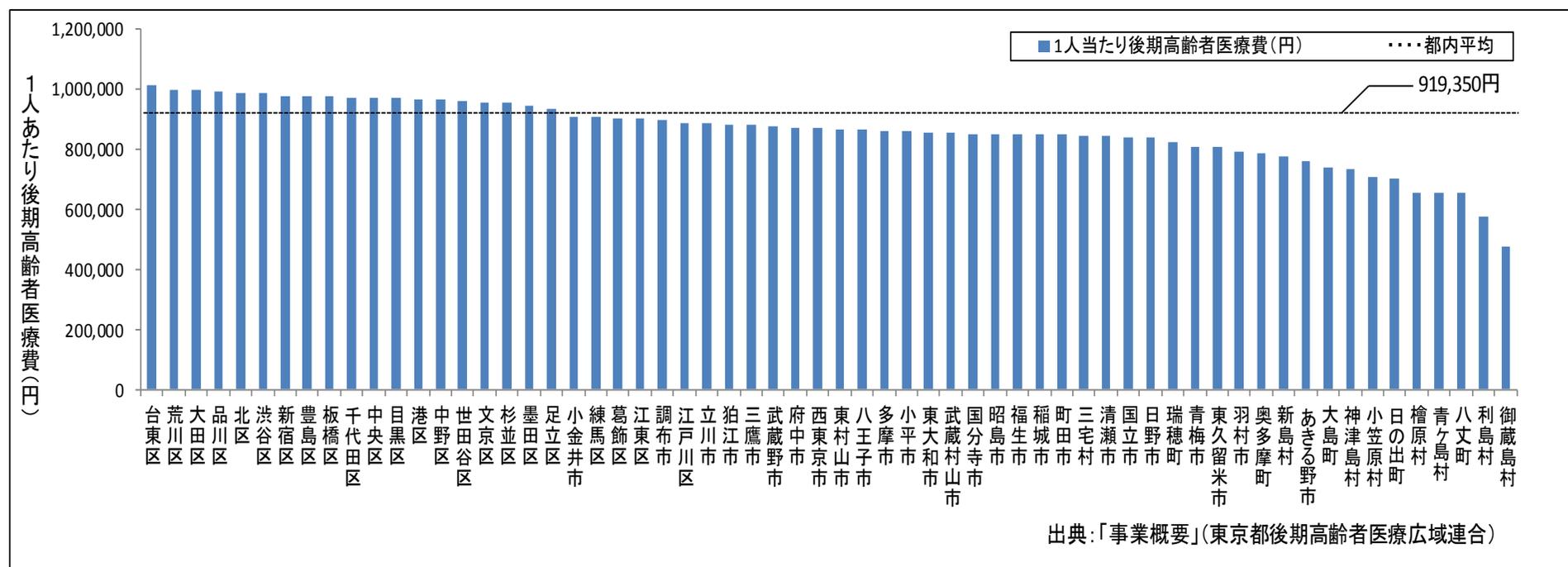
| 区分 | 歯科 | 順位 |
|----------------|----------|----|
| 1日あたり高齢者医療費 | 6,468 円 | 46 |
| 1件あたり日数 | 2.08 日 | 26 |
| 受診率(100人当たり件数) | 288.98 件 | 2 |

出典:『後期高齢者医療事業状況報告』(厚生労働省)平成26年度

(2) 後期高齢者医療費の都内比較

平成26年度における一人あたり後期高齢者医療費の都内比較では、相対的に区部が高いという傾向が見られた。

1人あたり後期高齢者医療費の都内比較(平成26年度)

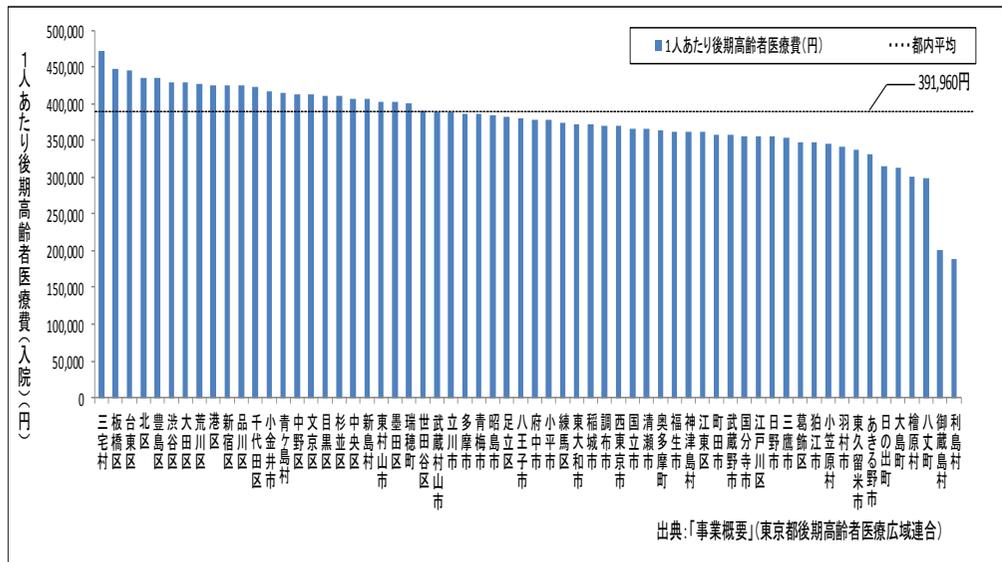


注1 生活・食事療養等含まない。

注2 島しょ地区は、母数が少ないことによる影響がある。

①入院

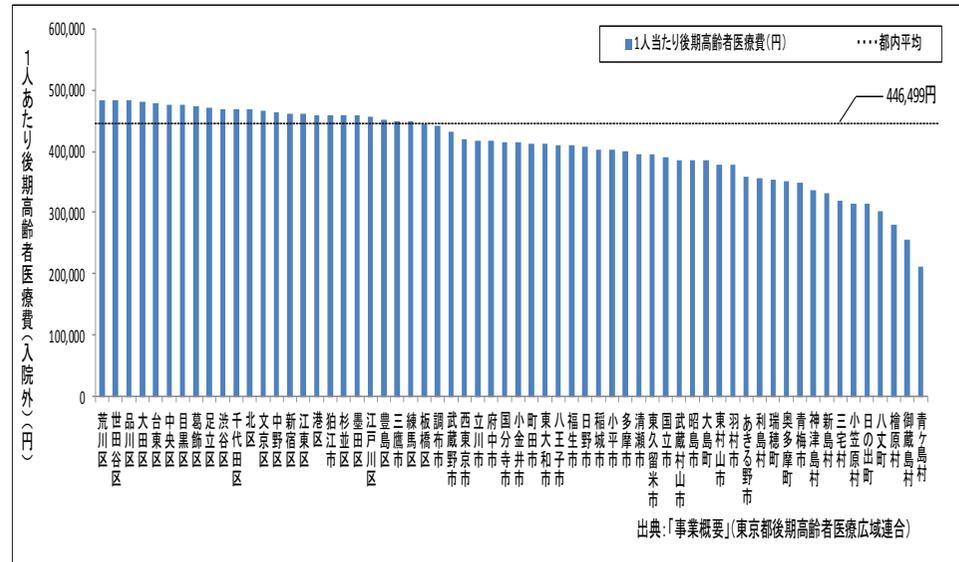
1人あたり後期高齢者医療費(入院)の都内比較(平成26年度)



注1 入院による生活・食事療養等含まない。
注2 島しょ地区は、母数が少ないことによる影響がある。

②入院外

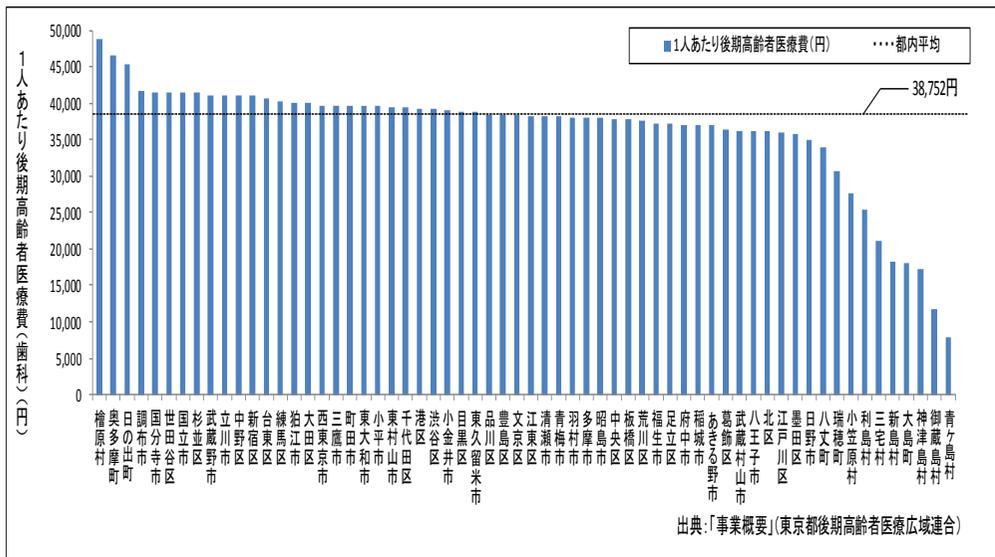
1人あたり後期高齢者医療費(入院外)の都内比較(平成26年度)



注1 調剤費を含む。
注2 島しょ地区は、母数が少ないことによる影響がある。

③歯科

1人あたり後期高齢者医療費(歯科)の都内比較(平成26年度)

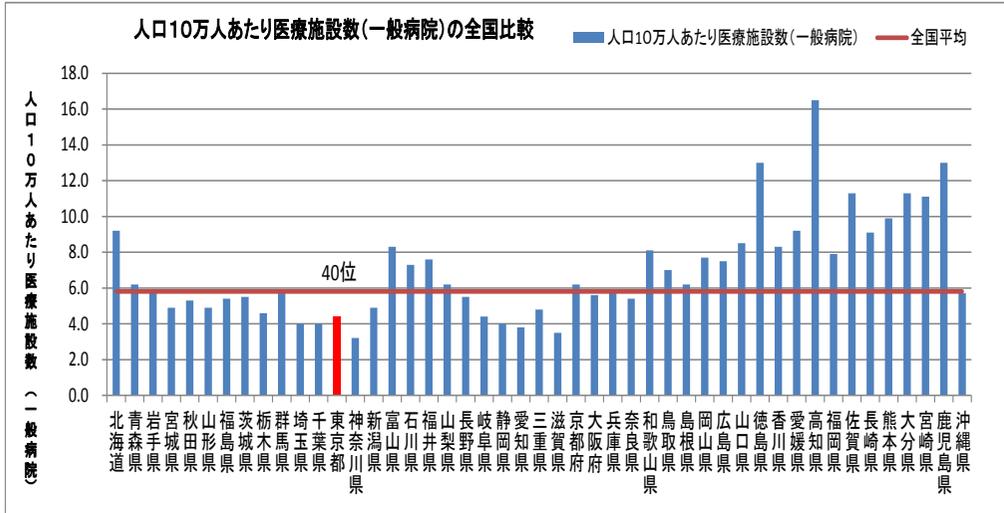


注1 歯科による生活・食事療養等含まない。
注2 島しょ地区は、母数が少ないことによる影響がある。

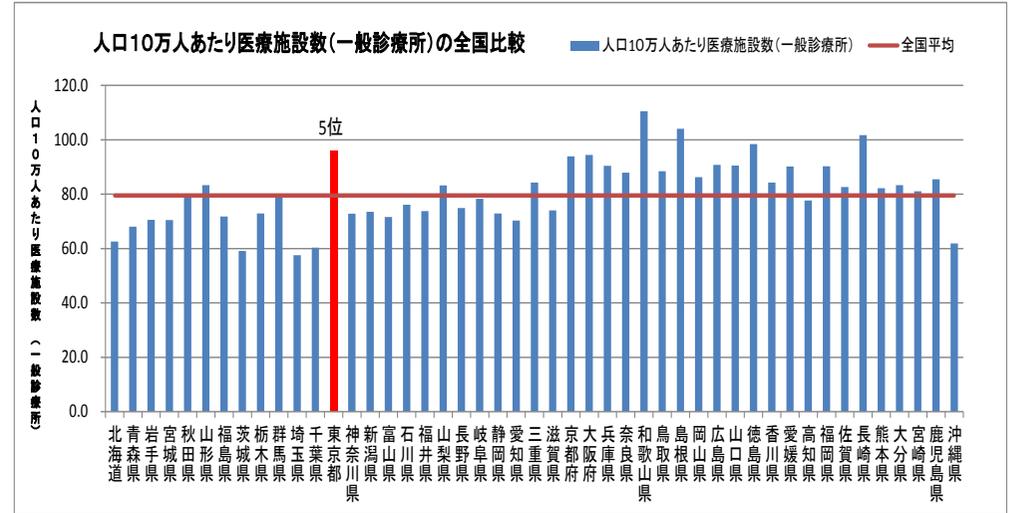
3 医療施設数の状況

(1) 人口10万人あたり医療施設数

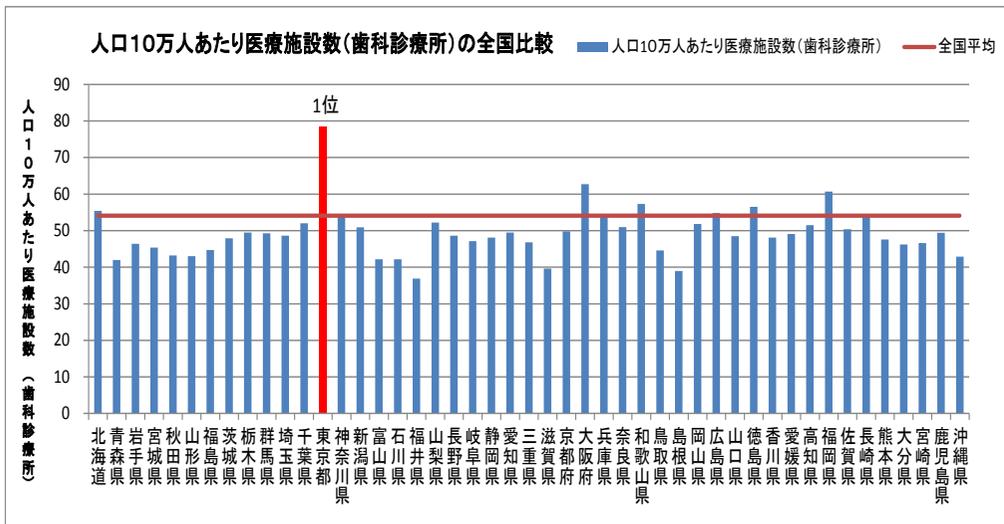
一般病院 ……全国比較順位 40位 (4.4施設)



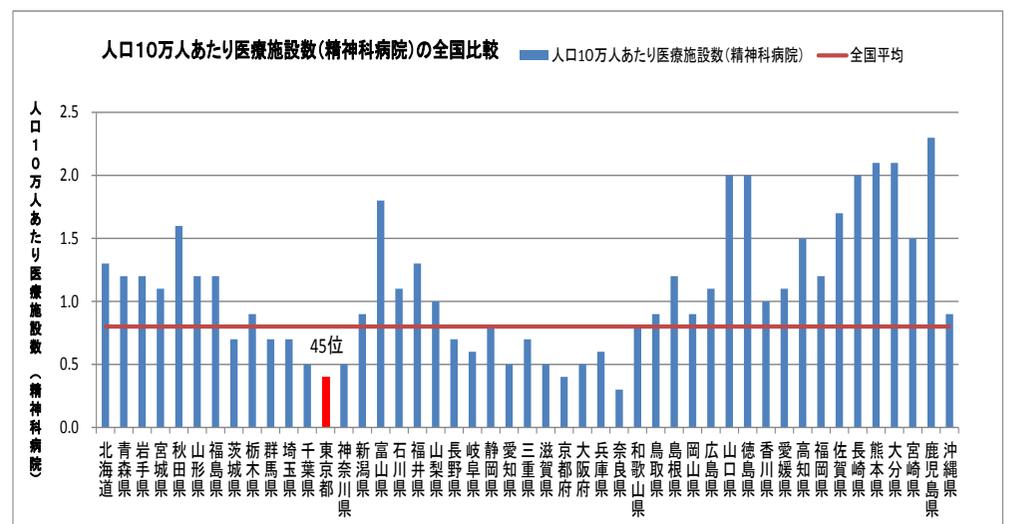
一般診療所 ……全国比較順位 5位 (95.8施設)



歯科診療所 ……全国比較順位 1位 (78.6施設)



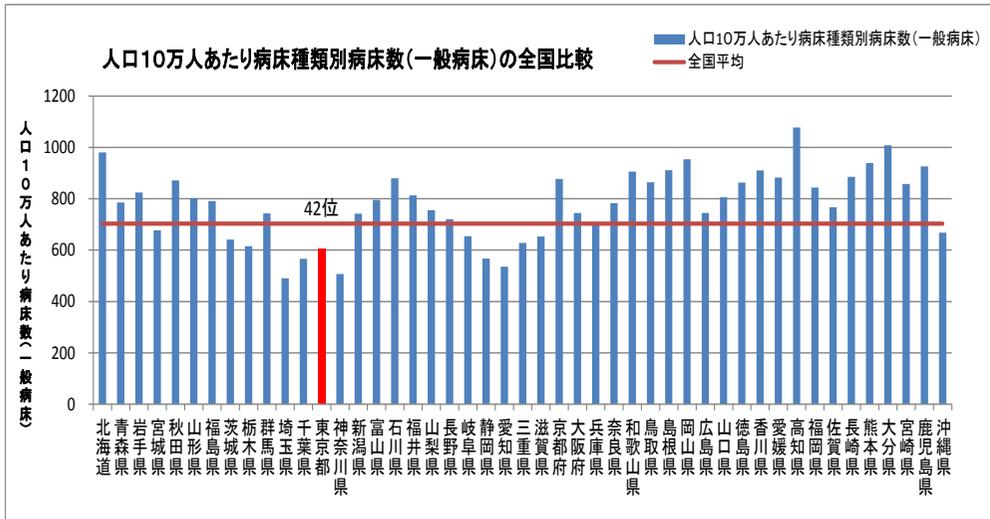
精神科病院 ……全国比較順位 45位 (0.4施設)



出典:「医療施設調査(平成27年)」(厚生労働省)

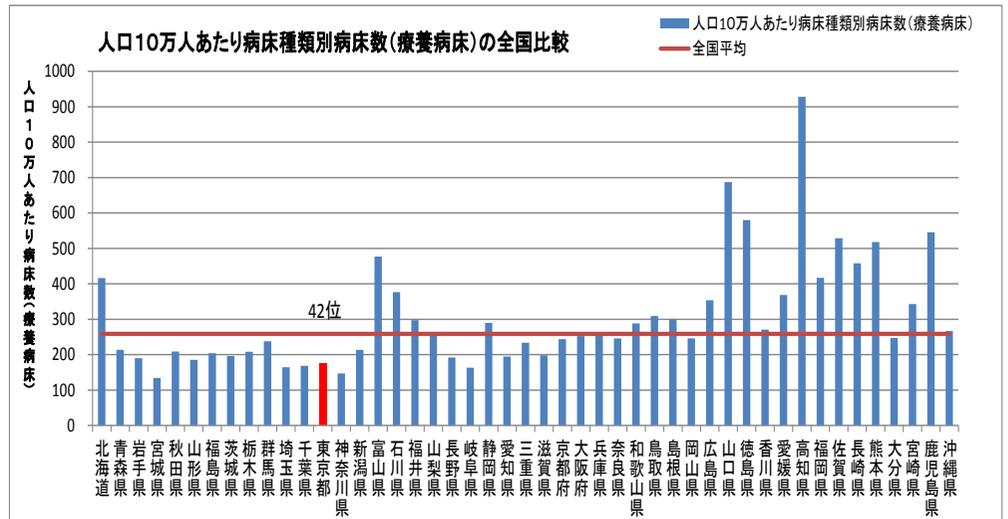
(2) 人口 10 万人あたり種類別病床数

一般病床 ……全国比較順位 **42位** (603.4病床)



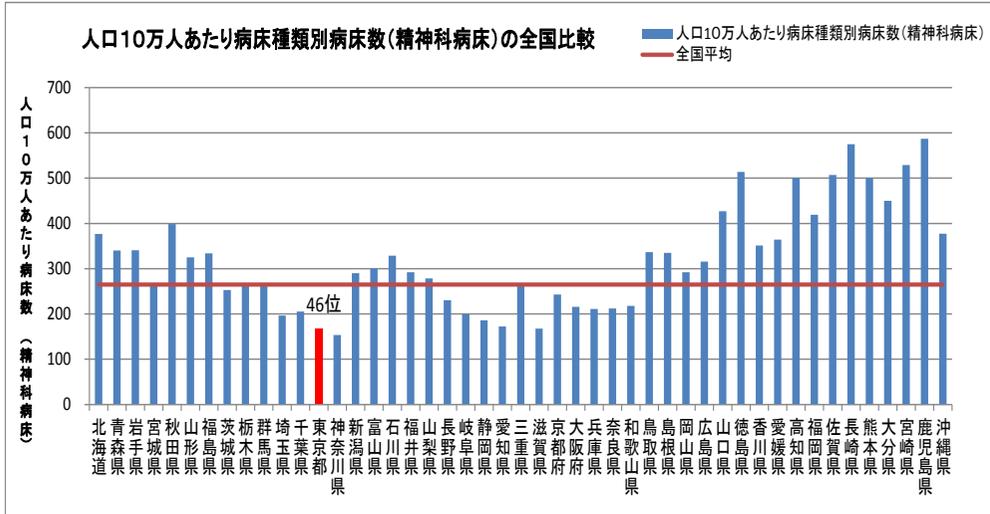
| 区分 | 一般病床 | 順位(降順) |
|--------|--------|--------|
| 病床稼働率 | 74.8 % | 24 |
| 平均在院日数 | 14.1 日 | 46 |

療養病床 ……全国比較順位 **42位** (174.1病床)



| 区分 | 療養病床 | 順位(降順) |
|--------|---------|--------|
| 病床稼働率 | 90.0 % | 12 |
| 平均在院日数 | 167.1 日 | 15 |

精神科病床 ……全国比較順位 **46位** (166.4病床)



| 区分 | 精神科病床 | 順位(降順) |
|--------|---------|--------|
| 病床稼働率 | 88.4 % | 15 |
| 平均在院日数 | 191.8 日 | 47 |

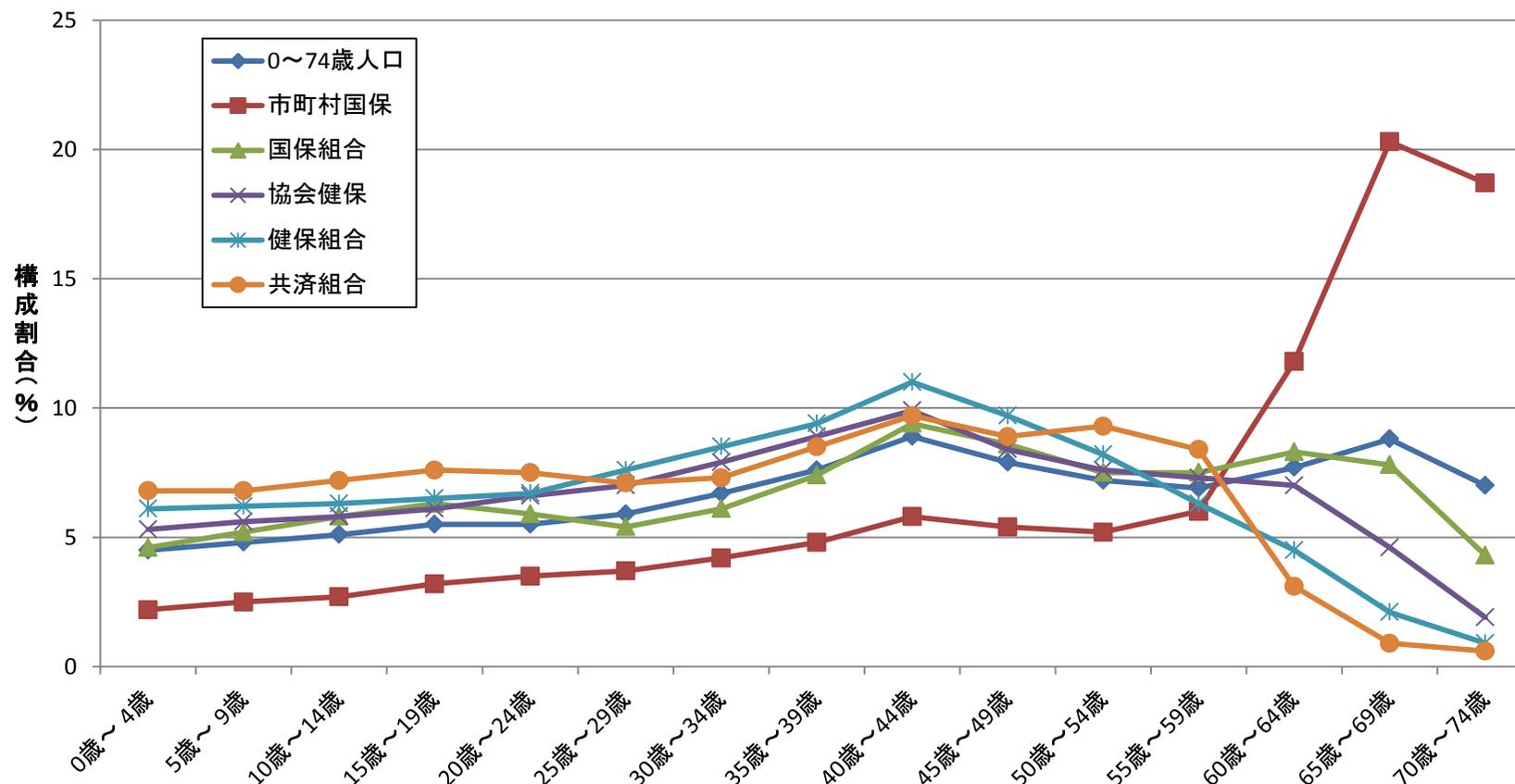
出典:「医療施設調査(平成27年)」(厚生労働省)
「病院報告(平成27年)」(厚生労働省)

4 全国保険制度別年齢構成と疾病構造の状況

(1) 全国保険制度別年齢構成

国民健康保険と被用者保険では、加入者の年齢構成が異なる。

0～74歳人口及び保険制度別年齢構成

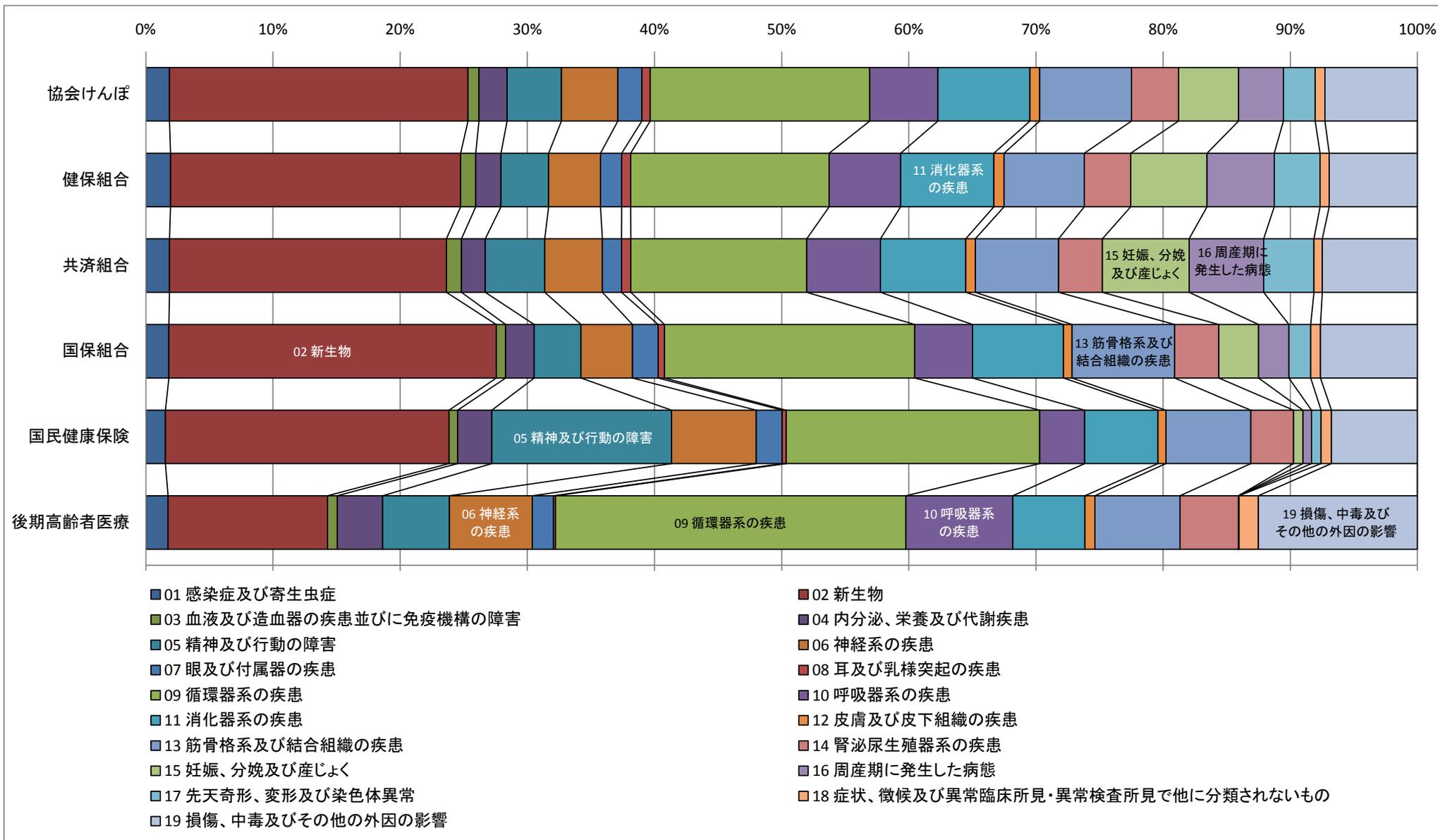


出典：「国民健康保険実態調査報告(平成27年度)」(厚生労働省)
 「健康保険・船員保険被保険者実態調査(平成27年10月)」(厚生労働省)
 「医療保険に関する基礎資料～平成26年度の医療費の状況～」(厚生労働省)
 ※総人口は、平成27年10月1日現在推計人口(総務省統計局)による
 ※共済組合は、平成26年度平均(厚生労働省)による

(2) 全国保険制度別疾病構造

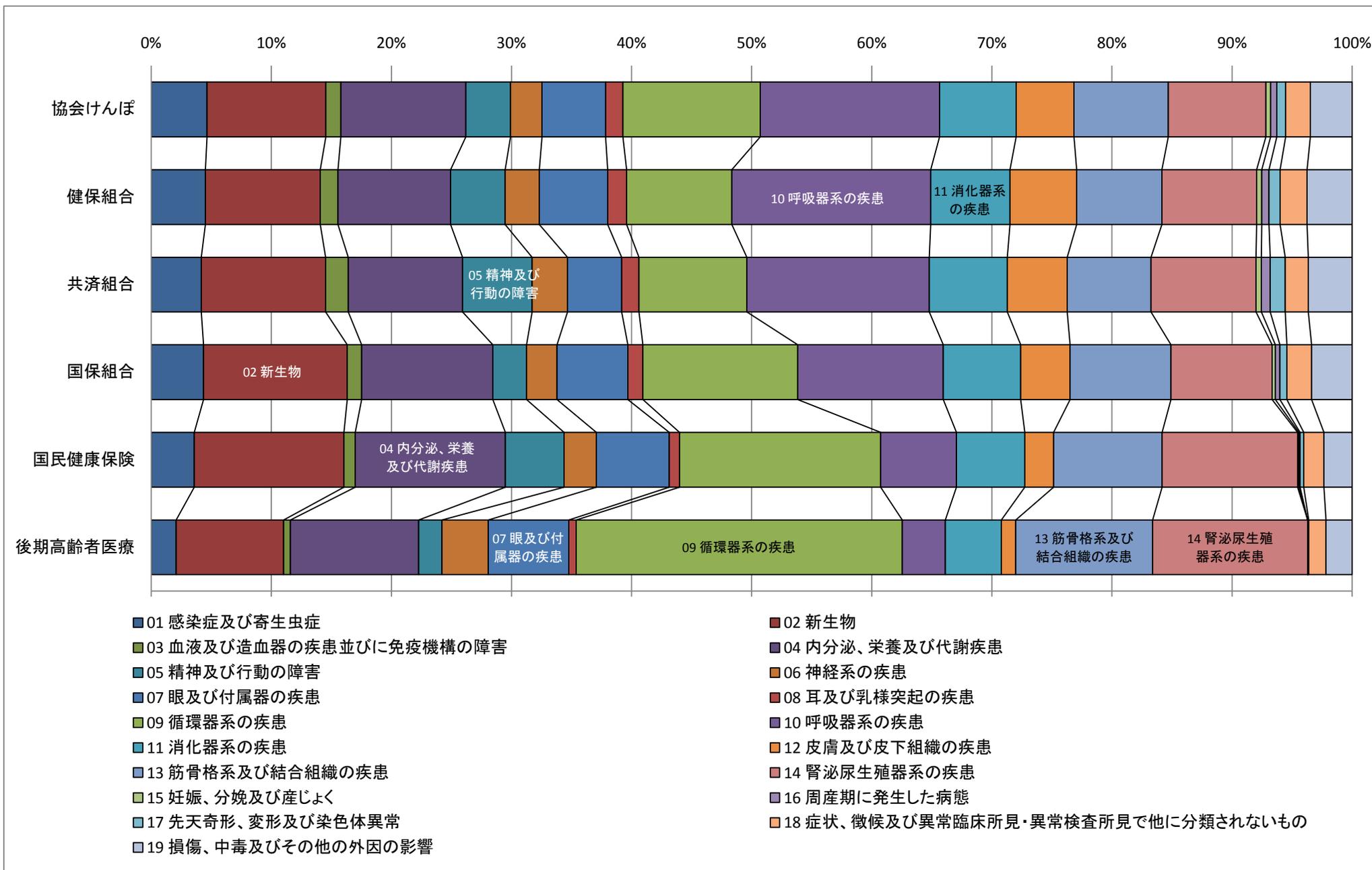
① 疾病大分類別構造 (レセプト点数(医療費)・入院)

※歯科及び調剤を含む。



②疾病大分類別構造（レセプト点数(医療費)・入院外)

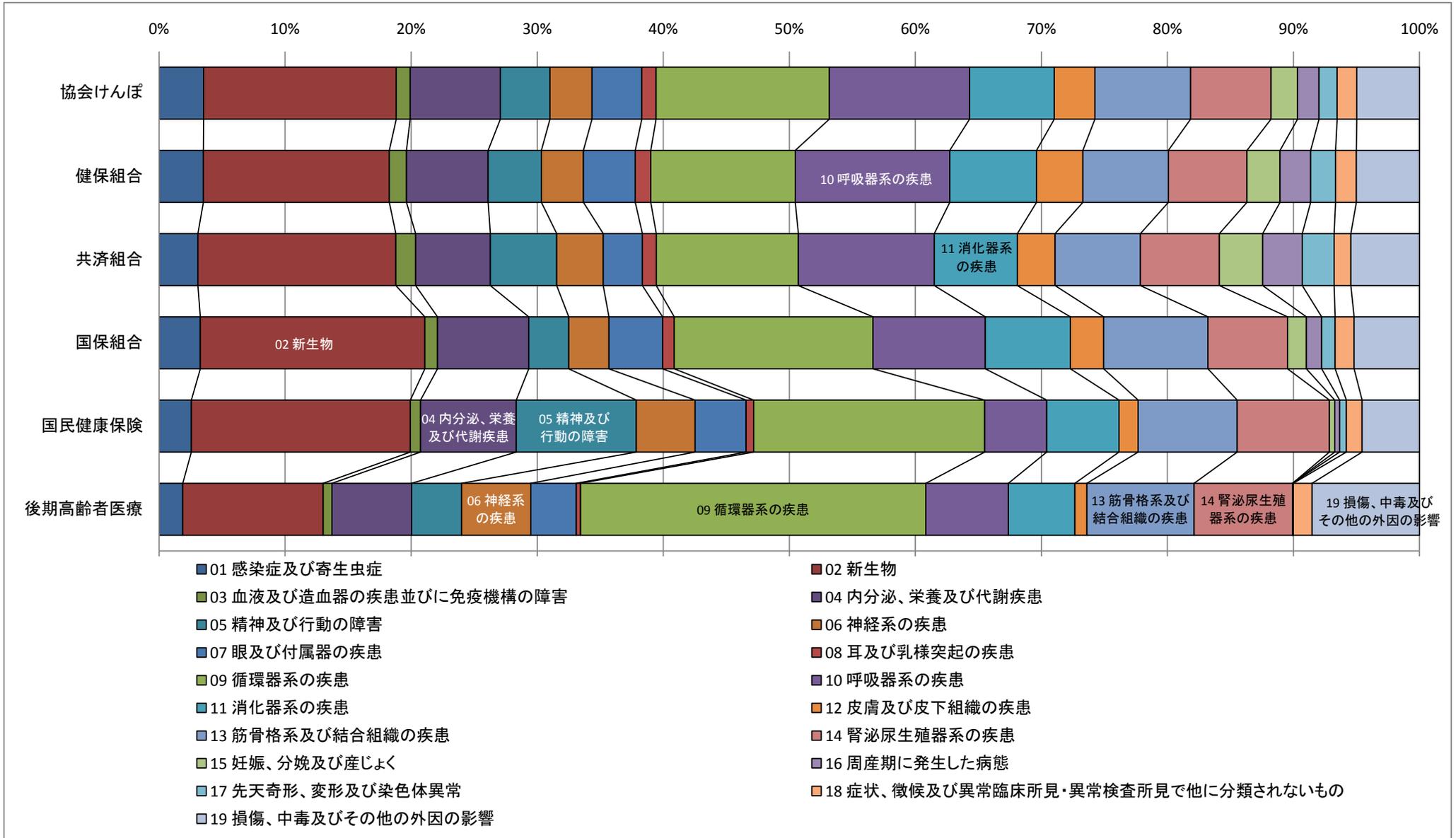
※歯科及び調剤を含む。



出典：「医療給付実態調査(平成27年度)」(厚生労働省)

③疾病大分類別構造（レセプト点数(医療費)・入院＋入院外)

※歯科及び調剤を含む。



被用者保険では加入者の住所地別医療費データを把握していないため、都における医療費分析は国民健康保険の疾病別医療費データを中心として行わざるを得ない。

出典：「医療給付実態調査(平成27年度)」(厚生労働省)

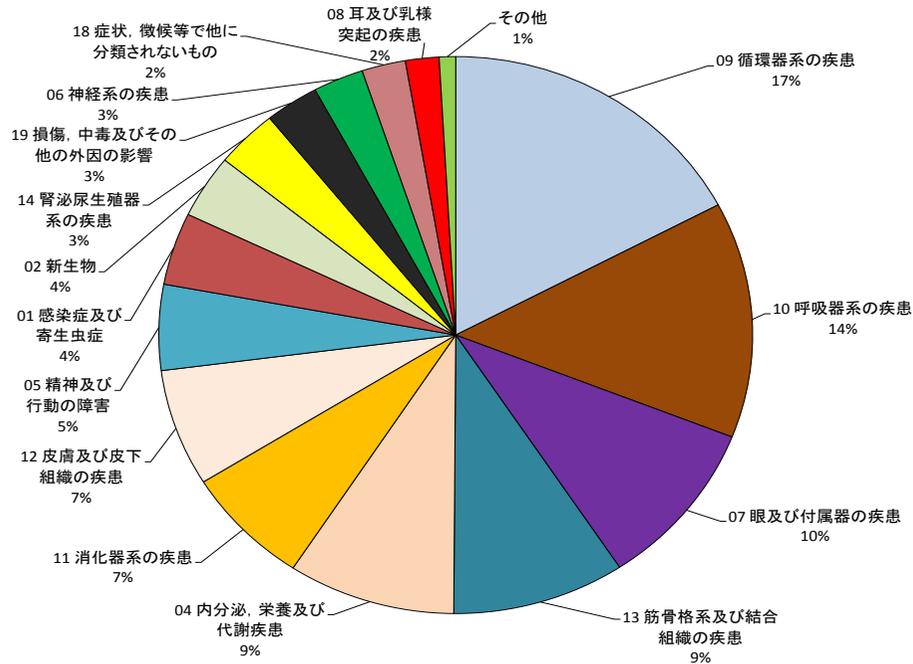
5 東京都国保疾病別医療費データから見る疾病状況

(1) 疾病大分類別に見た概況

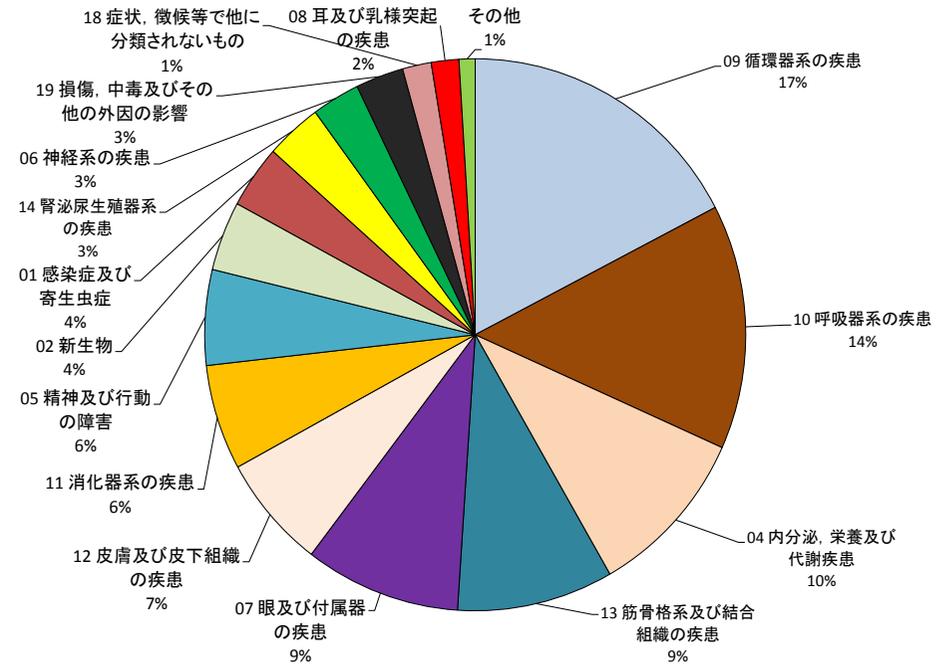
① 件数の構成

疾病大分類別のレセプト件数を見ると、平成18年及び平成24年ともに「循環器系の疾患」が最も多く、各疾病の構成割合に大きな変化は見られない。

平成18年5月診療分 レセプト件数の構成(医科計)



平成24年5月診療分 レセプト件数の構成(医科計)



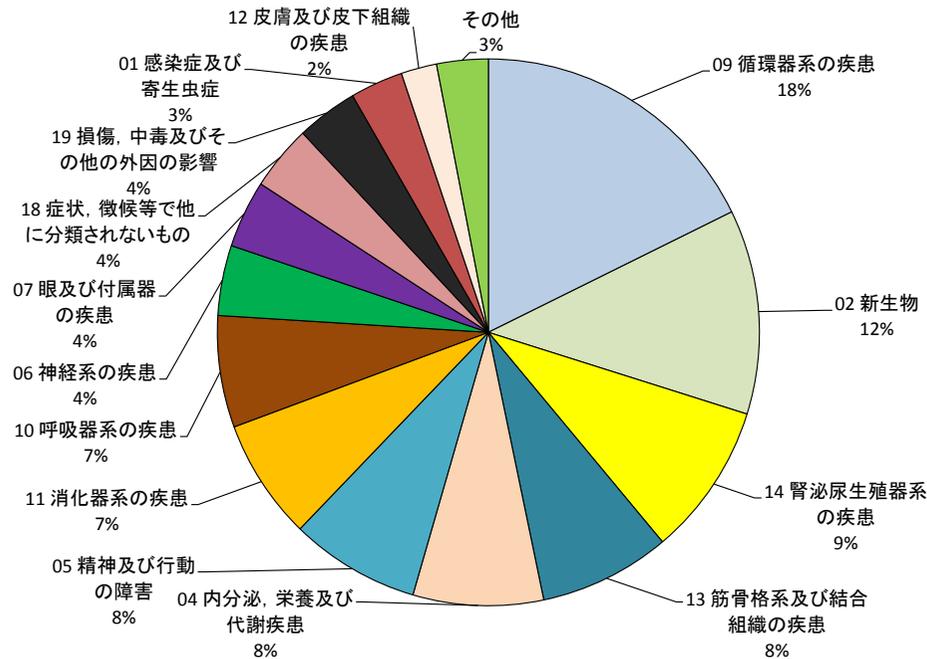
※医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。
 ※75歳以上を除く

出典:連合会提供データ

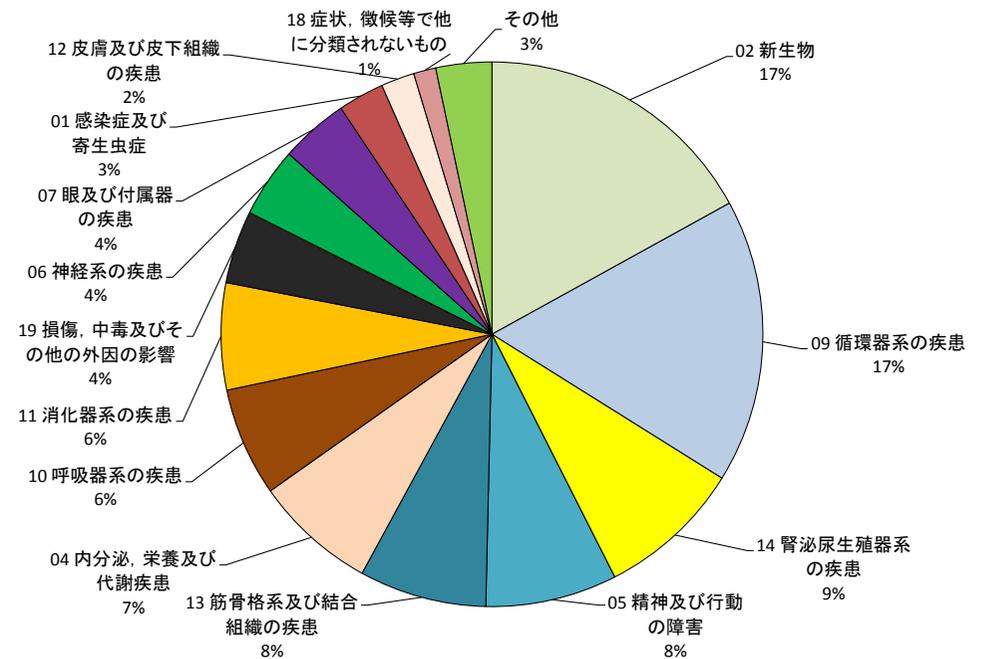
② 医療費の構成

疾病大分類別の医療費の構成を見ると、平成 18 年と比較して平成 24 年では「新生物」が「循環器系の疾患」を抜き、最も大きな割合を占めている。

平成 18 年 5 月診療分 医療費の構成(医科計)



平成 24 年 5 月診療分 医療費の構成(医科計)



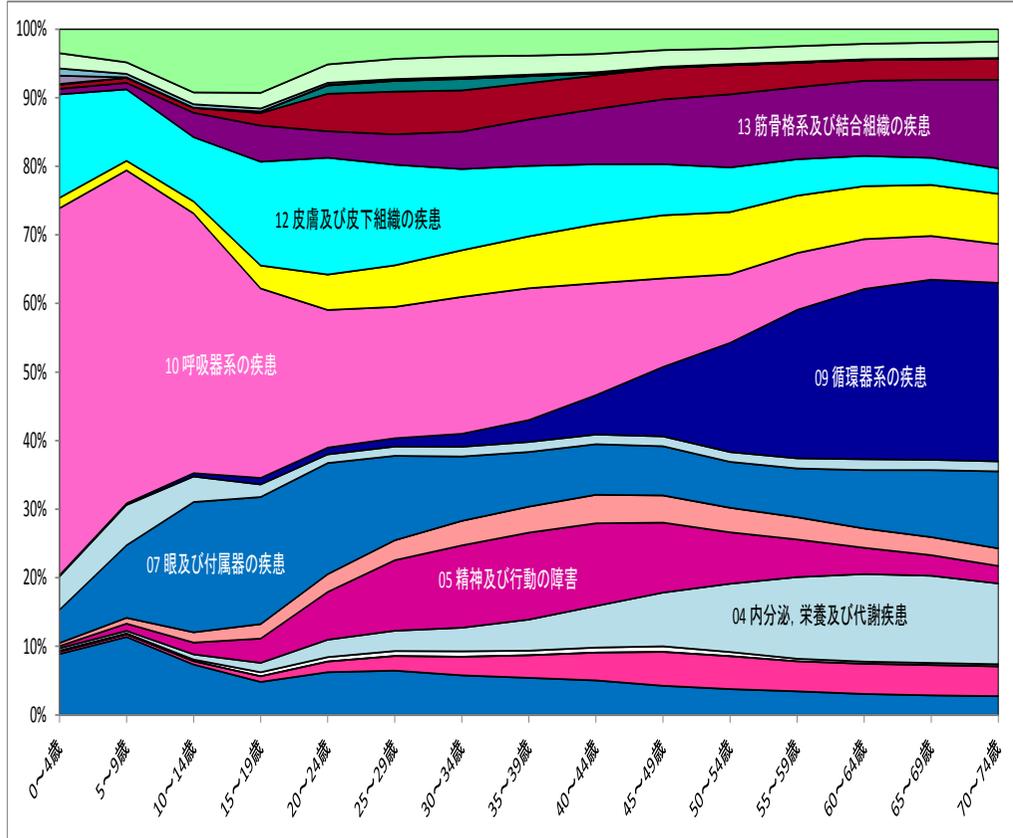
※医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。
 ※75 歳以上を除く

出典：連合会提供データ

③年齢階級別に見た件数の構成(医科計)

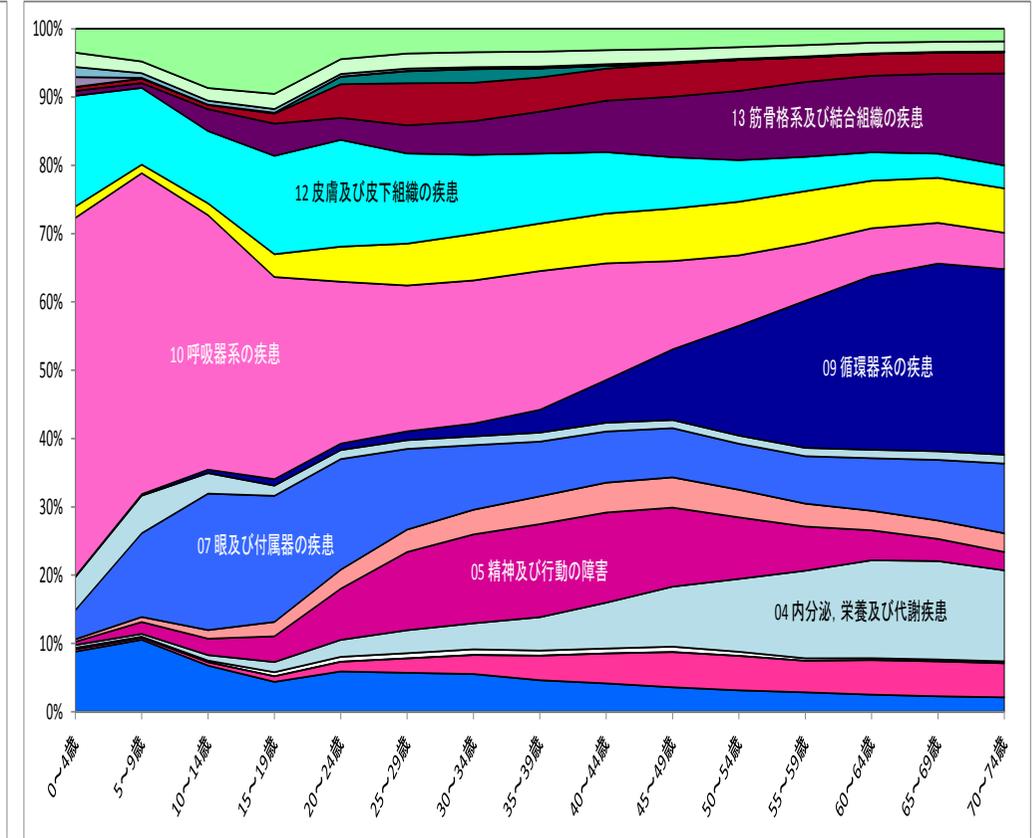
※医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。

平成 18 年 5 月診療分 疾病大分類別レセプト件数の構成(医科計)



若年層においては「呼吸器系の疾患」が多く、高齢になるにつれて「循環器系の疾患」が最も多くなっている。

平成 24 年 5 月診療分 疾病大分類別レセプト件数の構成(医科計)



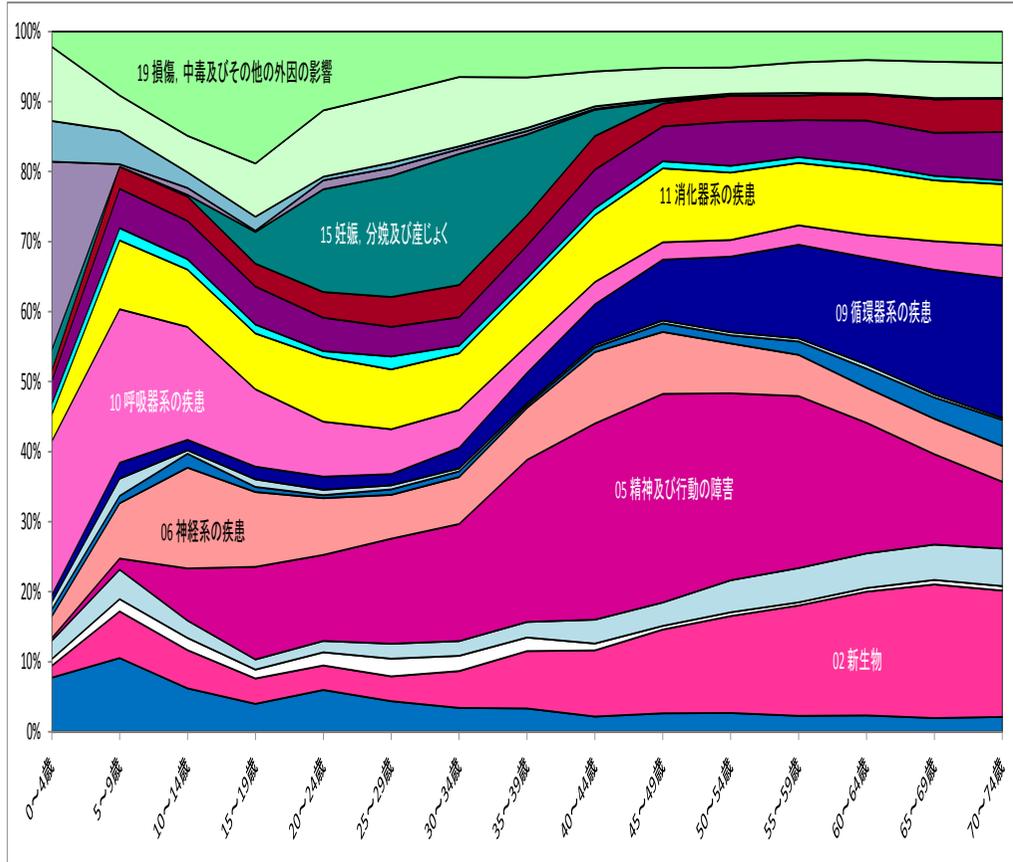
- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------------|
| ■ 01 感染症及び寄生虫症 | ■ 02 新生物 | □ 03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 |
| □ 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | ■ 05 精神及び行動の障害 | ■ 06 神経系の疾患 |
| ■ 07 眼及び付属器の疾患 | □ 08 耳及び乳様突起の疾患 | ■ 09 循環器系の疾患 |
| ■ 10 呼吸器系の疾患 | ■ 11 消化器系の疾患 | ■ 12 皮膚及び皮下組織の疾患 |
| ■ 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | ■ 14 泌尿生殖器系の疾患 | ■ 15 妊娠、分娩及び産じょく |
| ■ 16 周産期に発生した病態 | ■ 17 先天奇形、変形及び染色体異常 | □ 18 症状、徴候等で他に分類されないもの |
| ■ 19 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | | |

出典: 連合会提供データ

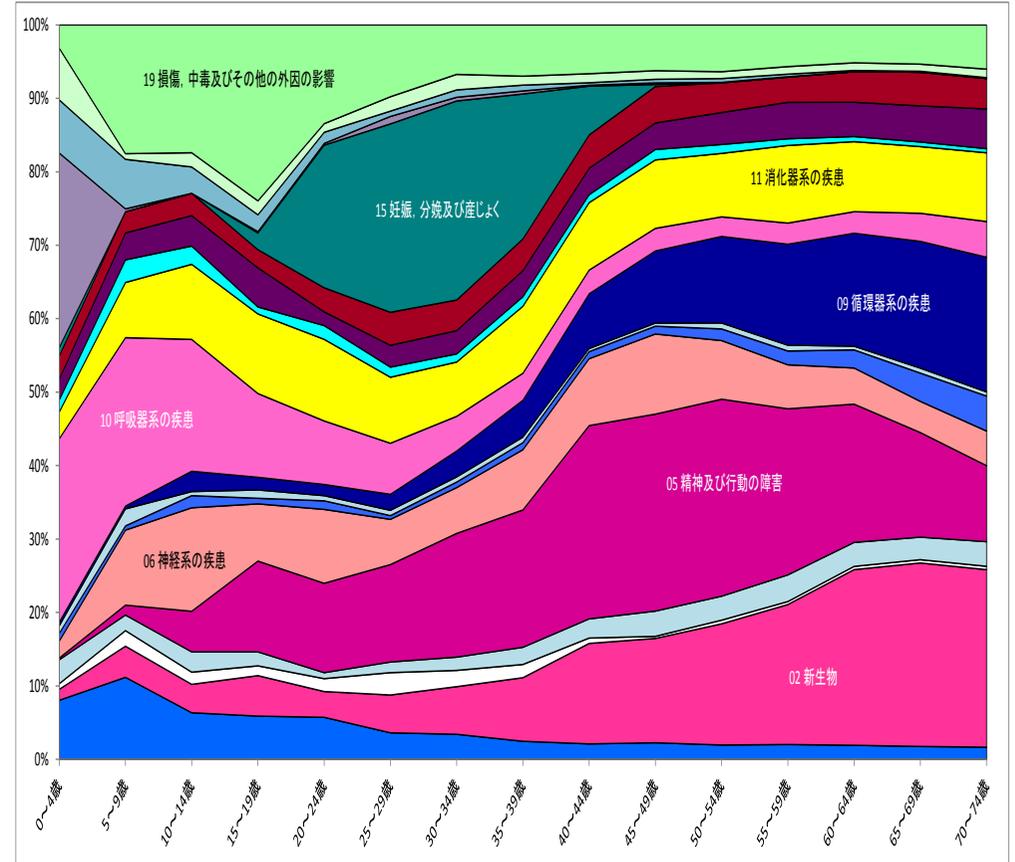
③年齢階級別に見た件数の構成(医科入院)

※医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。

平成 18 年 5 月診療分 疾病大分類別レセプト件数の構成(医科入院)



平成 24 年 5 月診療分 疾病大分類別レセプト件数の構成(医科入院)



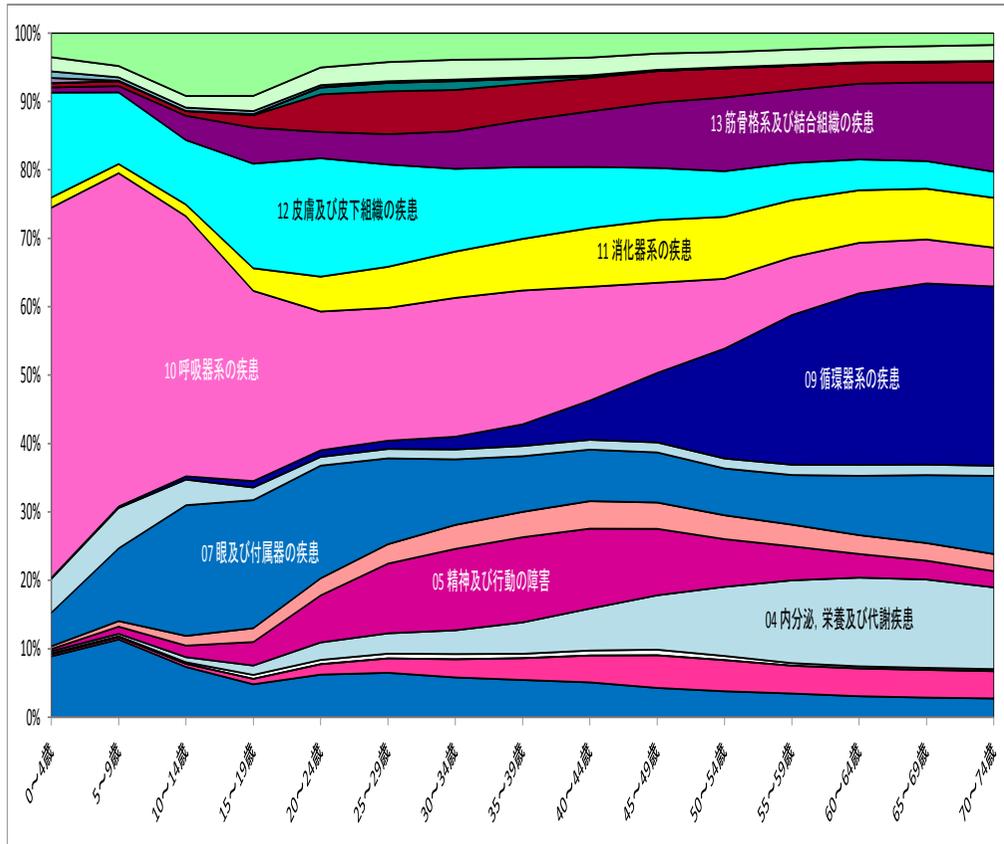
- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------------|
| ■ 01 感染症及び寄生虫症 | ■ 02 新生物 | □ 03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 |
| □ 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | ■ 05 精神及び行動の障害 | ■ 06 神経系の疾患 |
| ■ 07 眼及び付属器の疾患 | □ 08 耳及び乳様突起の疾患 | ■ 09 循環器系の疾患 |
| ■ 10 呼吸器系の疾患 | ■ 11 消化器系の疾患 | ■ 12 皮膚及び皮下組織の疾患 |
| ■ 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | ■ 14 腎泌尿生殖器系の疾患 | ■ 15 妊娠、分娩及び産じょく |
| ■ 16 周産期に発生した病態 | ■ 17 先天奇形、変形及び染色体異常 | □ 18 症状、徴候等で他に分類されないもの |
| ■ 19 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | | |

出典: 連合会提供データ

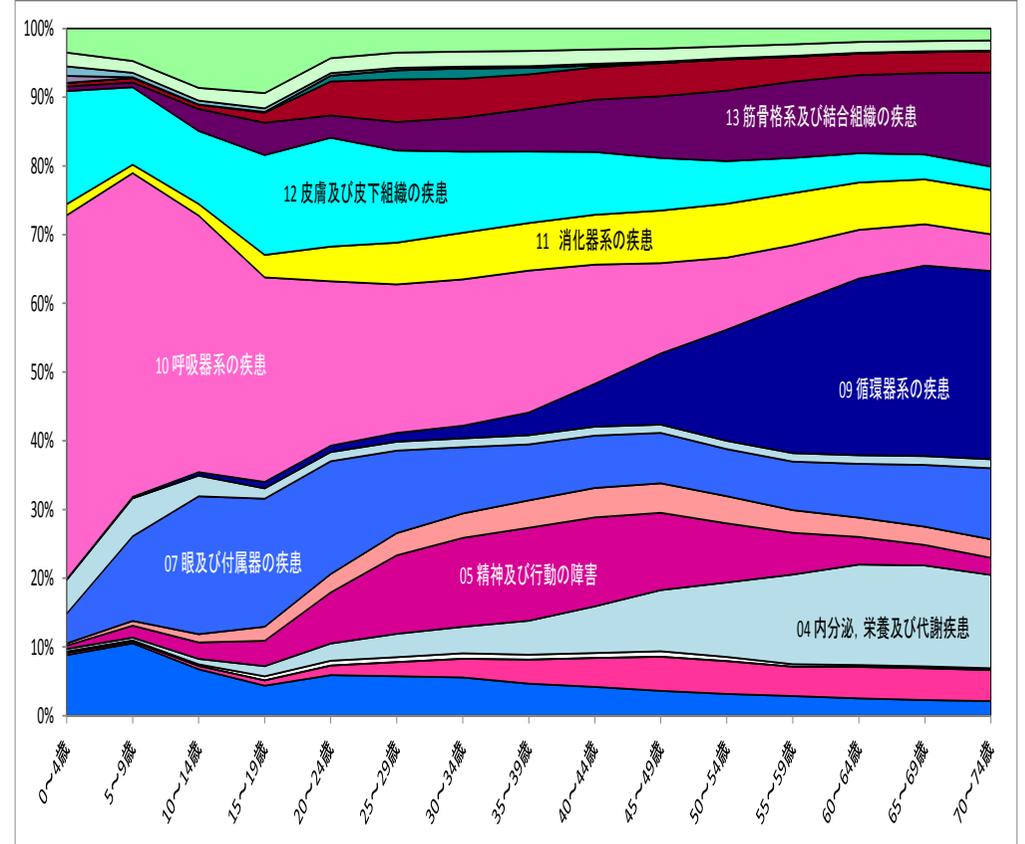
③年齢階級別に見た件数の構成(医科入院外)

※医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。

平成 18 年 5 月診療分 疾病大分類別レセプト件数の構成(医科入院外)



平成 24 年 5 月診療分 疾病大分類別レセプト件数の構成(医科入院外)



- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------------|
| ■ 01 感染症及び寄生虫症 | ■ 02 新生物 | □ 03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 |
| □ 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | ■ 05 精神及び行動の障害 | ■ 06 神経系の疾患 |
| ■ 07 眼及び付属器の疾患 | □ 08 耳及び乳様突起の疾患 | ■ 09 循環器系の疾患 |
| ■ 10 呼吸器系の疾患 | ■ 11 消化器系の疾患 | ■ 12 皮膚及び皮下組織の疾患 |
| ■ 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | ■ 14 腎泌尿生殖器系の疾患 | ■ 15 妊娠、分娩及び産後 |
| ■ 16 周産期に発生した病態 | ■ 17 先天奇形、変形及び染色体異常 | □ 18 症状、徴候等で他に分類されないもの |
| ■ 19 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | | |

出典: 連合会提供データ

(2) 疾病中分類別に見た概況

① 件数 ランキング

レセプト件数が最も多いのは、「高血圧性疾患」、次いで「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「糖尿病」という順になっている。

平成 24 年 5 月診療分 レセプト件数ランキング

| NO | 疾病大分類 | 疾病中分類 | 合計 / 件数 | 件数占有率 |
|----|----------------------|-------------------------------|---------|-------|
| 1 | 09 循環器系の疾患 | 0901 高血圧性疾患 | 363,924 | 13.1% |
| 2 | 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 | 131,521 | 4.7% |
| 3 | 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 0402 糖尿病 | 125,094 | 4.5% |
| 4 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0703 屈折及び調節の障害 | 106,395 | 3.8% |
| 5 | 12 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1202 皮膚炎及び湿疹 | 105,660 | 3.8% |
| 6 | 10 呼吸器系の疾患 | 1003 その他の急性上気道感染症 | 93,799 | 3.4% |
| 7 | 10 呼吸器系の疾患 | 1010 喘息 | 87,489 | 3.2% |
| 8 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 83,802 | 3.0% |
| 9 | 10 呼吸器系の疾患 | 1006 アレルギー性鼻炎 | 73,364 | 2.6% |
| 10 | 12 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患 | 69,878 | 2.5% |
| 11 | 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) | 57,664 | 2.1% |
| 12 | 19 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 | 56,698 | 2.0% |
| 13 | 06 神経系の疾患 | 0606 その他の神経系の疾患 | 55,583 | 2.0% |
| 14 | 11 消化器系の疾患 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 | 55,402 | 2.0% |
| 15 | 11 消化器系の疾患 | 1112 その他の消化器系の疾患 | 54,844 | 2.0% |
| 16 | 05 精神及び行動の障害 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 54,685 | 2.0% |
| 17 | 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1302 関節症 | 49,794 | 1.8% |
| 18 | 18 症状、徴候等で他に分類されないもの | 1800 症状、徴候等で他に分類されないもの | 47,710 | 1.7% |
| 19 | 05 精神及び行動の障害 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 43,251 | 1.6% |
| 20 | 10 呼吸器系の疾患 | 1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 42,285 | 1.5% |
| 21 | 05 精神及び行動の障害 | 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 39,176 | 1.4% |
| 22 | 11 消化器系の疾患 | 1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 37,451 | 1.4% |
| 23 | 02 新生物 | 0211 良性新生物及びその他の新生物 | 35,616 | 1.3% |
| 24 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0702 白内障 | 34,341 | 1.2% |
| 25 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0701 結膜炎 | 33,886 | 1.2% |

・「0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」に含まれる主な疾患は、高脂血症や肥満症

・「0606 その他の神経系の疾患」に含まれる主な疾患は、睡眠障害や顔面麻痺

・「0704 その他の眼及び付属器の疾患」に含まれる主な疾患は、緑内障や麦粒腫

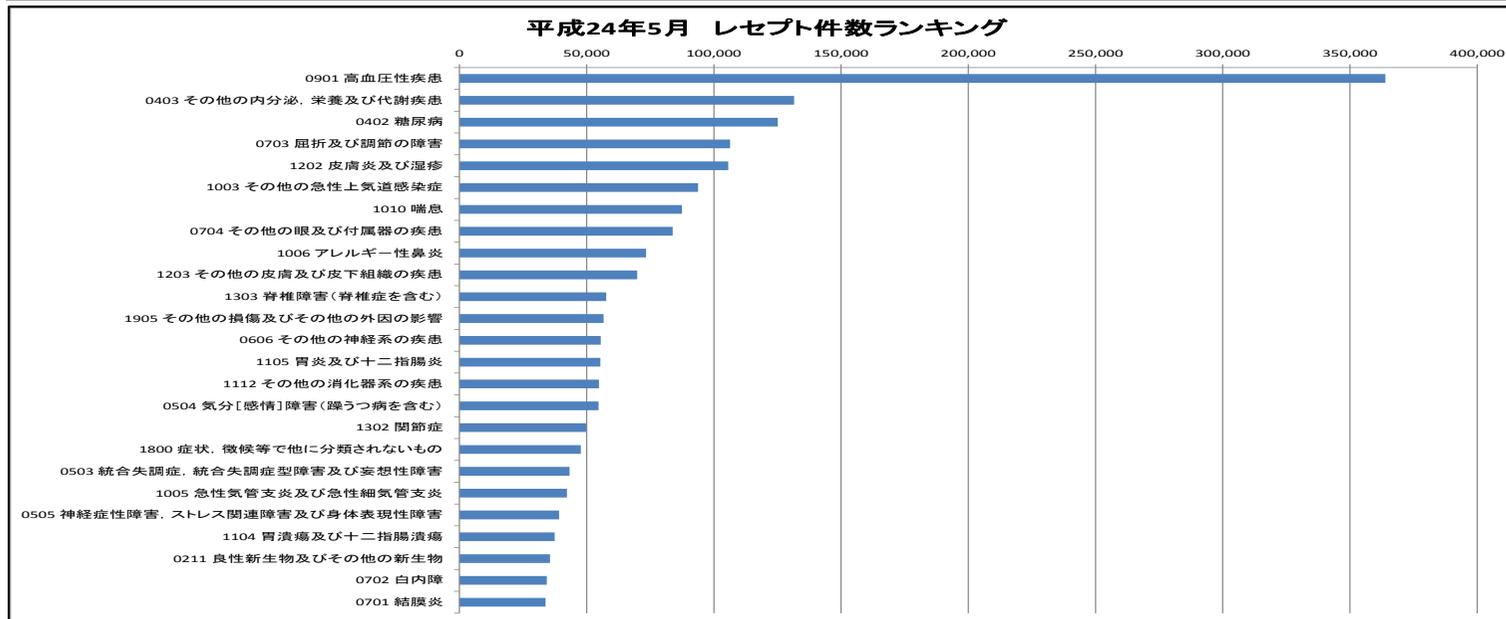
・「0903 その他の心疾患」に含まれる主な疾患は、心不全や不整脈

・「1003 その他の急性上気道感染症」に含まれる主な疾患は、急性咽頭炎や急性気管炎

・「1112 その他の消化器系の疾患」に含まれる主な疾患は、胃腸炎や急性虫垂炎

・「1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患」に含まれる主な疾患は、じんま疹や鶏眼(うおのめ)

・「1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」に含まれる主な疾患は、咳や呼吸困難、腹痛など



注 1. 75 歳以上を除く

注 2. 医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。

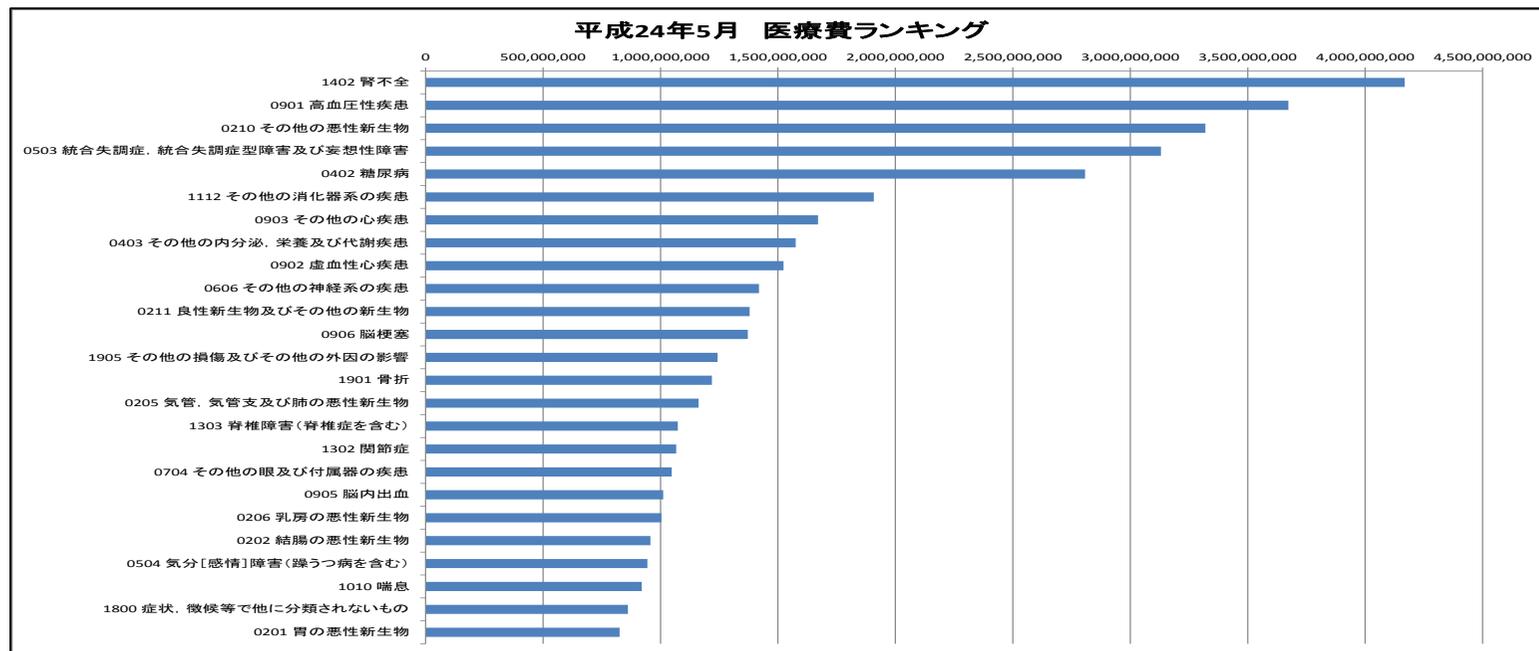
出典:連合会提供データ(平成 24 年度)

②医療費ランキング

医療費においては、「腎不全」が最も多く、次いで「高血圧性疾患」、「その他の悪性新生物」の順となっている。

平成 24 年 5 月診療分 医療費ランキング

| NO | 疾病大分類 | 疾病中分類 | 合計 / 費用額 | 医療費占有率 |
|----|-----------------------|-----------------------------|---------------|--------|
| 1 | 14 腎泌尿生殖器系の疾患 | 1402 腎不全 | 4,168,552,400 | 6.4% |
| 2 | 09 循環器系の疾患 | 0901 高血圧性疾患 | 3,672,778,390 | 5.7% |
| 3 | 02 新生物 | 0210 その他の悪性新生物 | 3,319,585,420 | 5.1% |
| 4 | 05 精神及び行動の障害 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 3,130,359,820 | 4.8% |
| 5 | 04 内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 0402 糖尿病 | 2,807,601,280 | 4.3% |
| 6 | 11 消化器系の疾患 | 1112 その他の消化器系の疾患 | 1,908,527,980 | 3.0% |
| 7 | 09 循環器系の疾患 | 0903 その他の心疾患 | 1,671,006,310 | 2.6% |
| 8 | 04 内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 1,576,065,370 | 2.4% |
| 9 | 09 循環器系の疾患 | 0902 虚血性心疾患 | 1,523,744,990 | 2.4% |
| 10 | 06 神経系の疾患 | 0606 その他の神経系の疾患 | 1,419,655,950 | 2.2% |
| 11 | 02 新生物 | 0211 良性新生物及びその他の新生物 | 1,379,628,200 | 2.1% |
| 12 | 09 循環器系の疾患 | 0906 脳梗塞 | 1,371,471,870 | 2.1% |
| 13 | 19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響 | 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 | 1,243,144,960 | 1.9% |
| 14 | 19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響 | 1901 骨折 | 1,218,578,010 | 1.9% |
| 15 | 02 新生物 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物 | 1,161,686,500 | 1.8% |
| 16 | 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) | 1,073,447,000 | 1.7% |
| 17 | 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1302 関節症 | 1,066,461,110 | 1.6% |
| 18 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 1,047,683,750 | 1.6% |
| 19 | 09 循環器系の疾患 | 0905 脳内出血 | 1,011,178,070 | 1.6% |
| 20 | 02 新生物 | 0206 乳房の悪性新生物 | 1,003,967,740 | 1.6% |
| 21 | 02 新生物 | 0202 結腸の悪性新生物 | 957,450,300 | 1.5% |
| 22 | 05 精神及び行動の障害 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 944,530,510 | 1.5% |
| 23 | 10 呼吸器系の疾患 | 1010 喘息 | 919,633,930 | 1.4% |
| 24 | 18 症状, 徴候等で他に分類されないもの | 1800 症状, 徴候等で他に分類されないもの | 861,232,690 | 1.3% |
| 25 | 02 新生物 | 0201 胃の悪性新生物 | 826,018,780 | 1.3% |



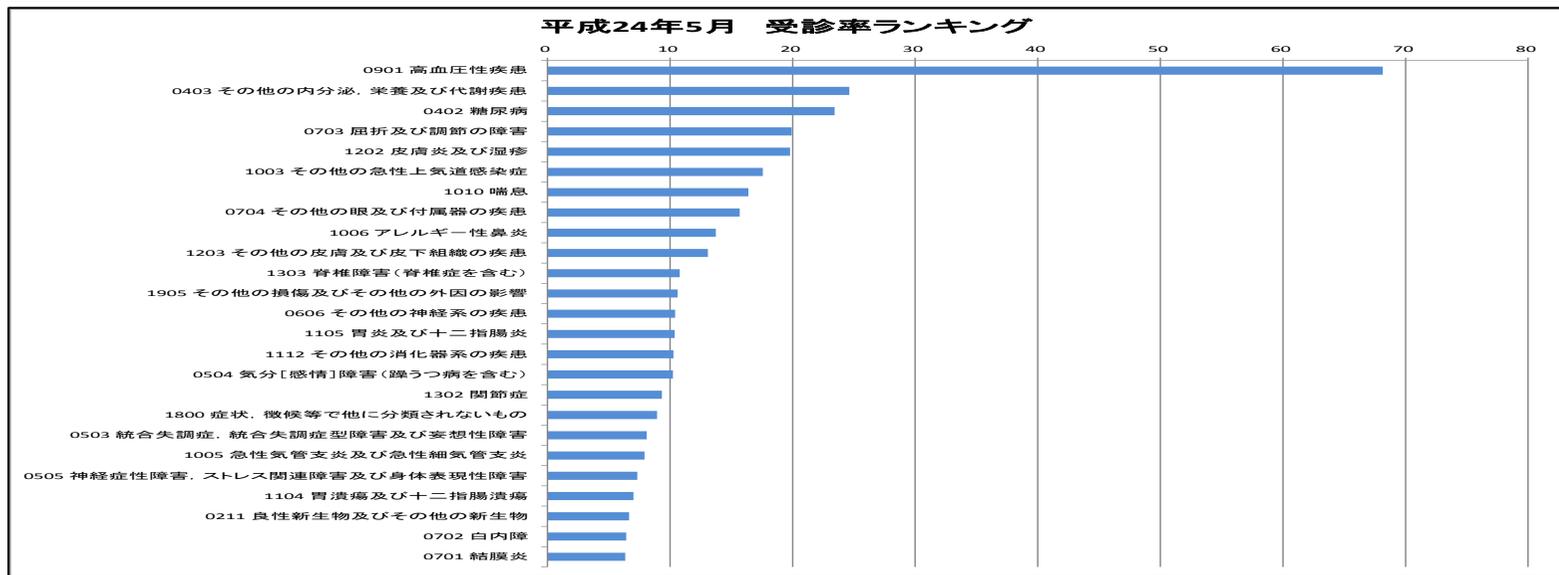
③受診率ランキング

受診率(1000人当たり件数)
 =レセプト件数÷被保険者数×1000

受診率は、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「糖尿病」の順となっている

平成24年5月診療分 受診率ランキング

| NO | 疾病大分類 | 疾病中分類 | 受診率 | 1件当たり医療費 |
|----|----------------------|-------------------------------|-------|----------|
| 1 | 09 循環器系の疾患 | 0901 高血圧性疾患 | 68.14 | 10,092 |
| 2 | 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 | 24.63 | 11,983 |
| 3 | 04 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 0402 糖尿病 | 23.42 | 22,444 |
| 4 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0703 屈折及び調節の障害 | 19.92 | 6,988 |
| 5 | 12 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1202 皮膚炎及び湿疹 | 19.78 | 5,570 |
| 6 | 10 呼吸器系の疾患 | 1003 その他の急性上気道感染症 | 17.56 | 6,566 |
| 7 | 10 呼吸器系の疾患 | 1010 喘息 | 16.38 | 10,511 |
| 8 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 15.69 | 12,502 |
| 9 | 10 呼吸器系の疾患 | 1006 アレルギー性鼻炎 | 13.74 | 6,045 |
| 10 | 12 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患 | 13.08 | 7,859 |
| 11 | 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) | 10.80 | 18,616 |
| 12 | 19 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 | 10.62 | 21,926 |
| 13 | 06 神経系の疾患 | 0606 その他の神経系の疾患 | 10.41 | 25,541 |
| 14 | 11 消化器系の疾患 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 | 10.37 | 10,996 |
| 15 | 11 消化器系の疾患 | 1112 その他の消化器系の疾患 | 10.27 | 34,799 |
| 16 | 05 精神及び行動の障害 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 10.24 | 17,272 |
| 17 | 13 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1302 関節症 | 9.32 | 21,417 |
| 18 | 18 症状、徴候等で他に分類されないもの | 1800 症状、徴候等で他に分類されないもの | 8.93 | 18,051 |
| 19 | 05 精神及び行動の障害 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 8.10 | 72,377 |
| 20 | 10 呼吸器系の疾患 | 1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 7.92 | 7,256 |
| 21 | 05 精神及び行動の障害 | 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 7.34 | 10,010 |
| 22 | 11 消化器系の疾患 | 1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 7.01 | 16,395 |
| 23 | 02 新生物 | 0211 良性新生物及びその他の新生物 | 6.67 | 38,736 |
| 24 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0702 白内障 | 6.43 | 18,440 |
| 25 | 07 眼及び付属器の疾患 | 0701 結膜炎 | 6.35 | 6,158 |



注 1. 75歳以上を除く
 注 2. 医科の主病のみであり歯科及び調剤に関するデータは含まれていない。

出典: 連合会提供データ(平成24年度)

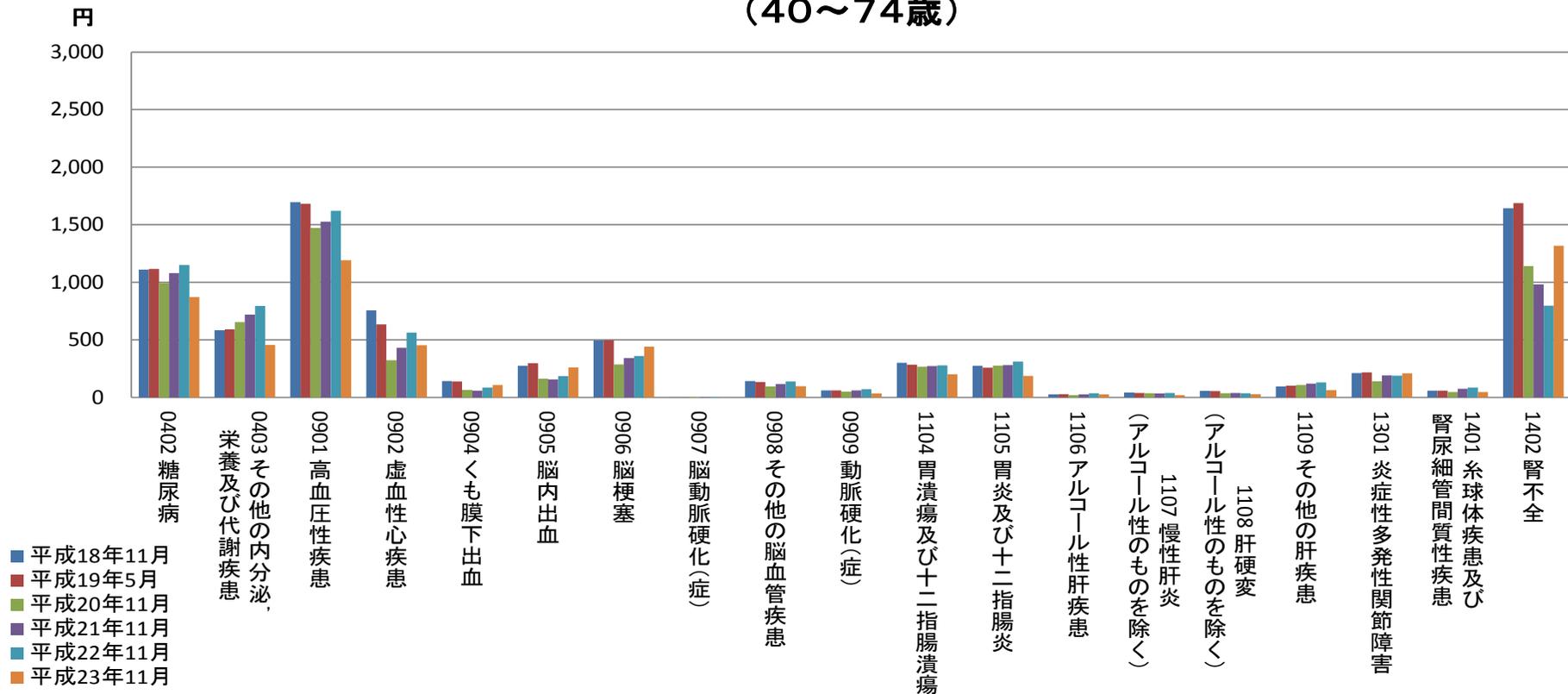
6 東京都生活習慣病疾病別1人あたり医療費(国保・後期)

(1) 東京都の生活習慣病の疾病別1人あたり医療費変動

40～74歳

40～74歳では「高血圧性疾患」「腎不全」「糖尿病」の順に高くなっている。
40～74歳の「腎不全」は平成19年から平成22年にかけて減少しているが、平成23年には再び増加している。

東京都の生活習慣病の疾病別1人あたり医療費変動
(40～74歳)

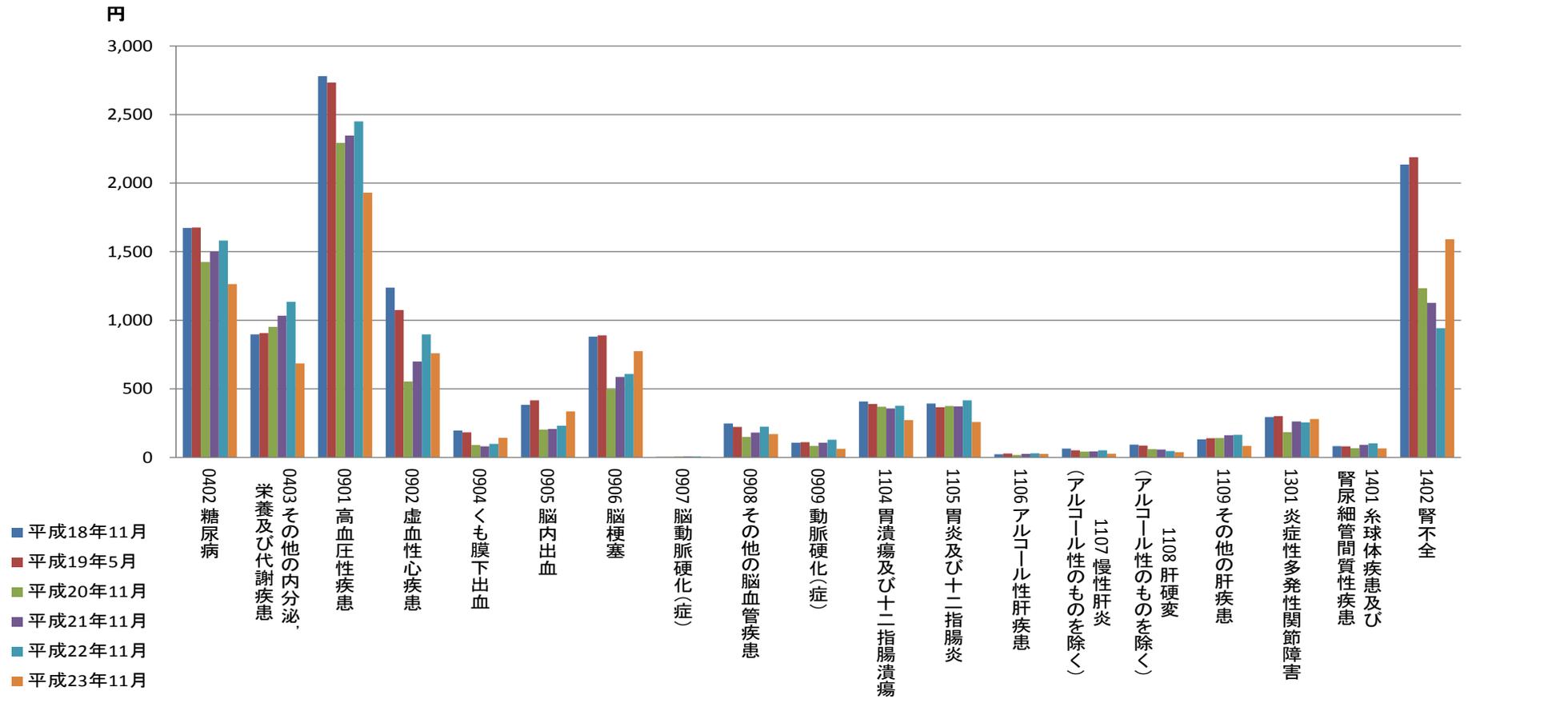


出典: 東京都福祉保健局調べ

65～74歳

65～74歳では、40～74歳と同様、「高血圧性疾患」「腎不全」「糖尿病」の順に高くなっている。

東京都の生活習慣病の疾病別1人あたり医療費変動
(65～74歳)

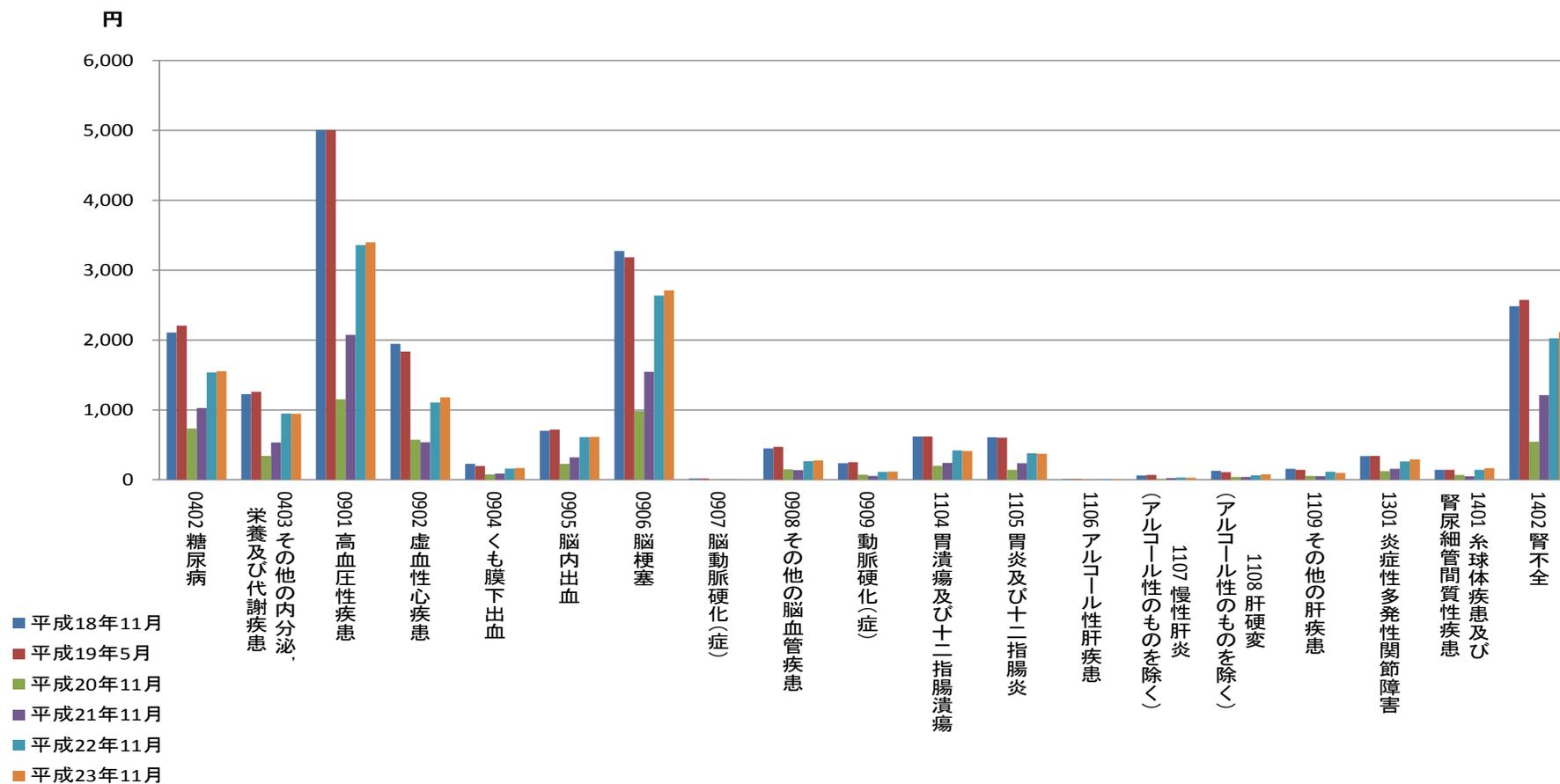


出典：東京都福祉保健局調べ

75歳以上

75歳以上では「高血圧性疾患」「脳梗塞」「腎不全」の順に高くなっている。
 (※75歳以上の平成20年及び21年における各疾病の大幅な減少は後期高齢者の疾病コード不明に起因するものと思われる。)

東京都の生活習慣病の疾病別1人あたり医療費変動 (75歳以上)



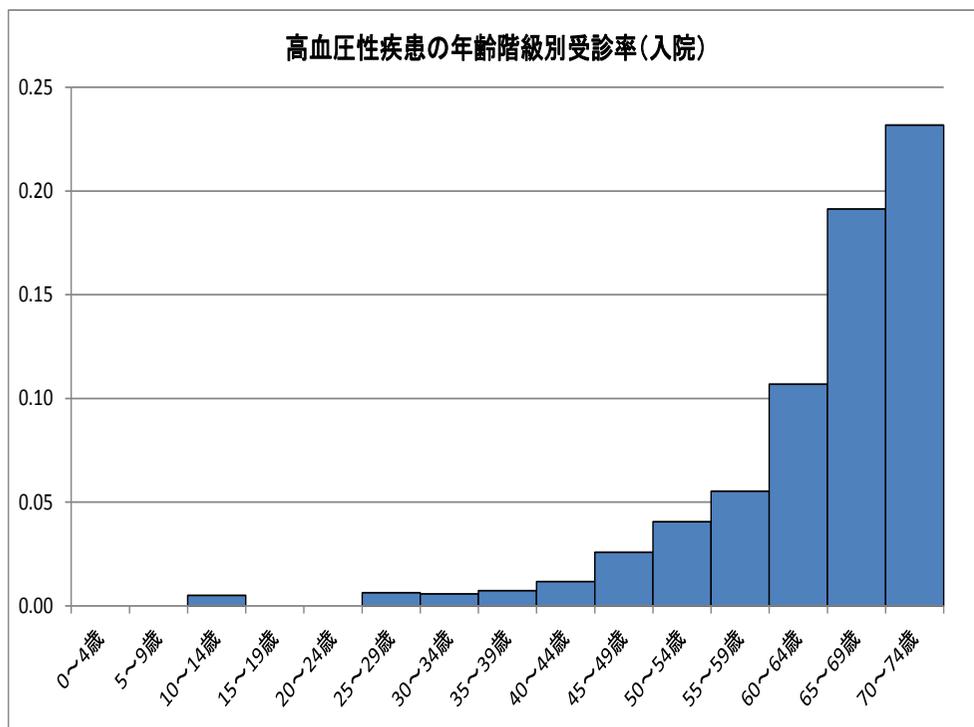
出典:東京都福祉保健局調べ

(2) 生活習慣病受診率の特徴

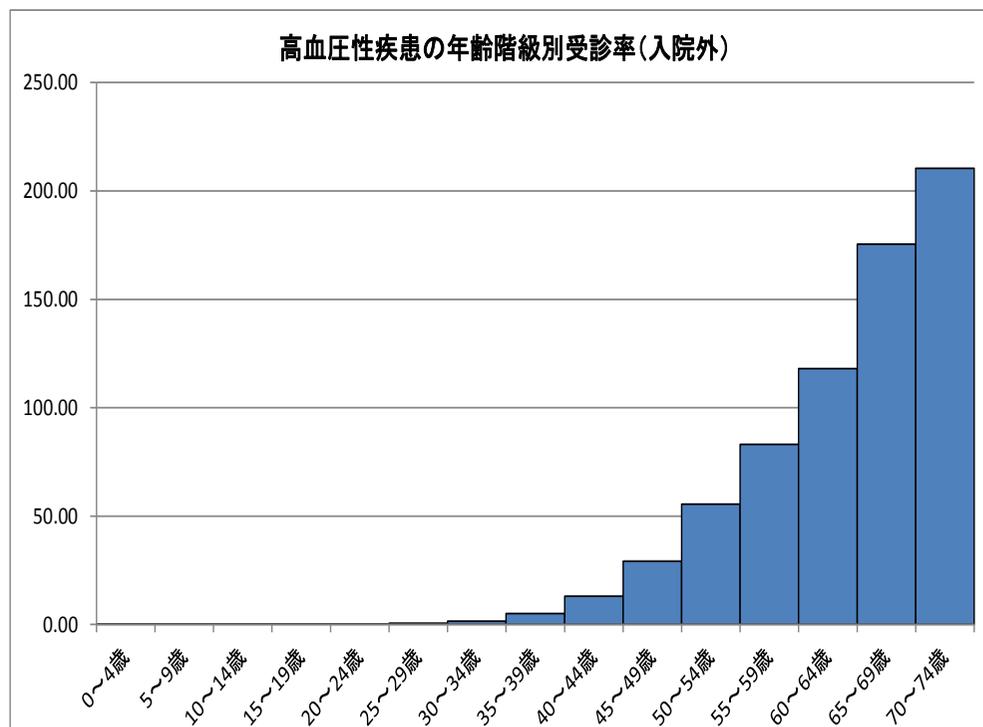
① 高血圧性疾患の年齢階級別受診率(平成24年5月診療分 医科入院・入院外受診率)

高血圧性疾患の受診率(被保険者 1000 人あたり件数)をみると、入院では 60 歳以上、入院外では 65 歳以上から高くなっている。

入院



入院外

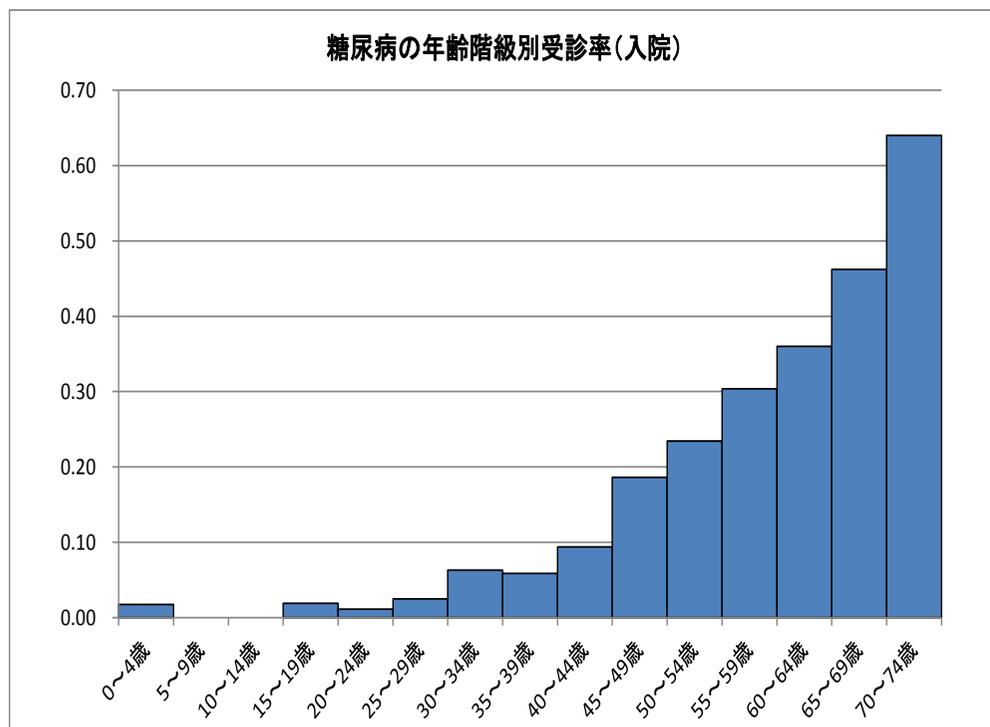


出典: 連合会提供データ

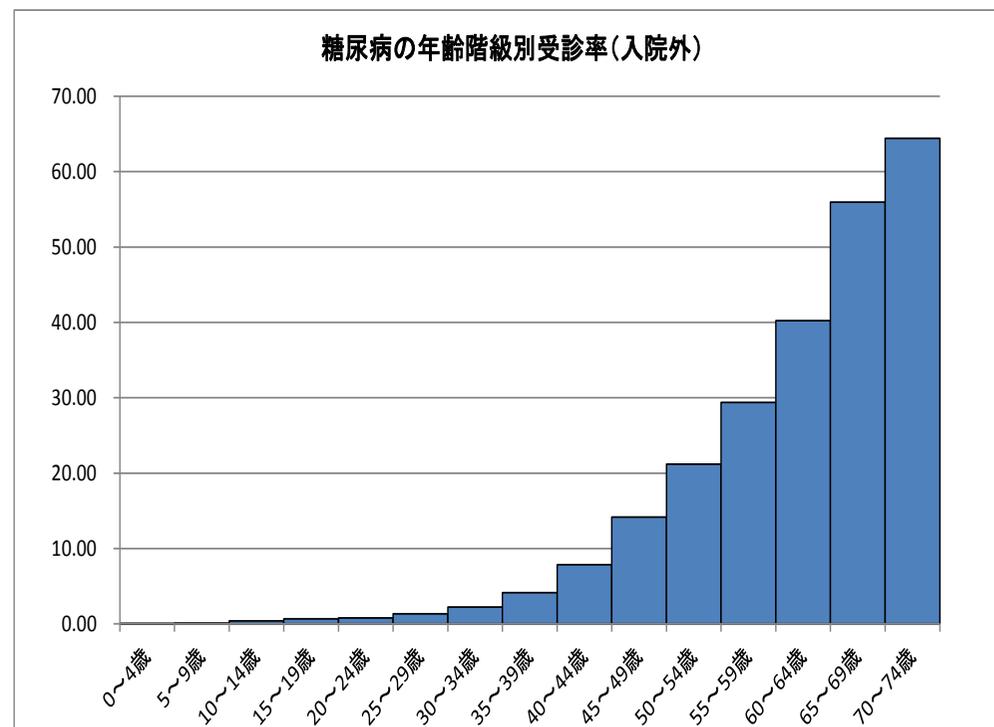
②糖尿病の年齢階級別受診率(平成24年5月診療分 医科入院・入院外受診率)

糖尿病の受診率(被保険者 1000 人あたり件数)をみると、入院では 70 歳以上、入院外では 65 歳以上から高くなっている。

入院



入院外

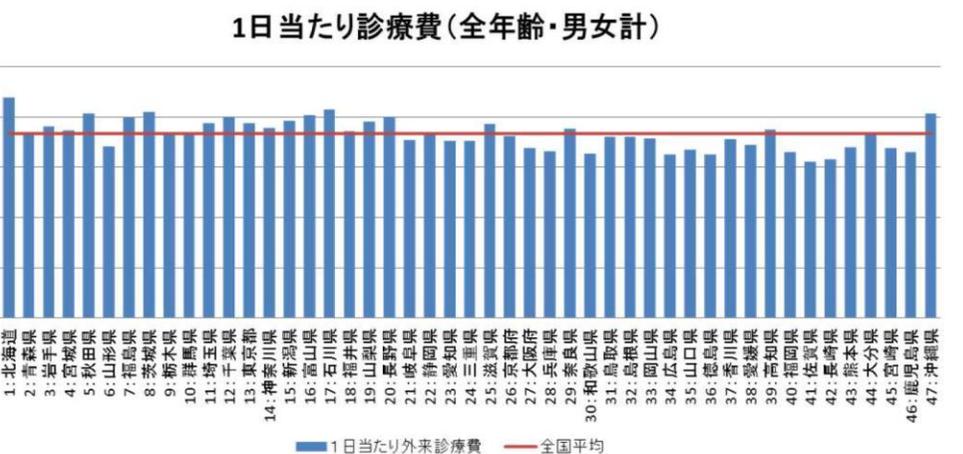
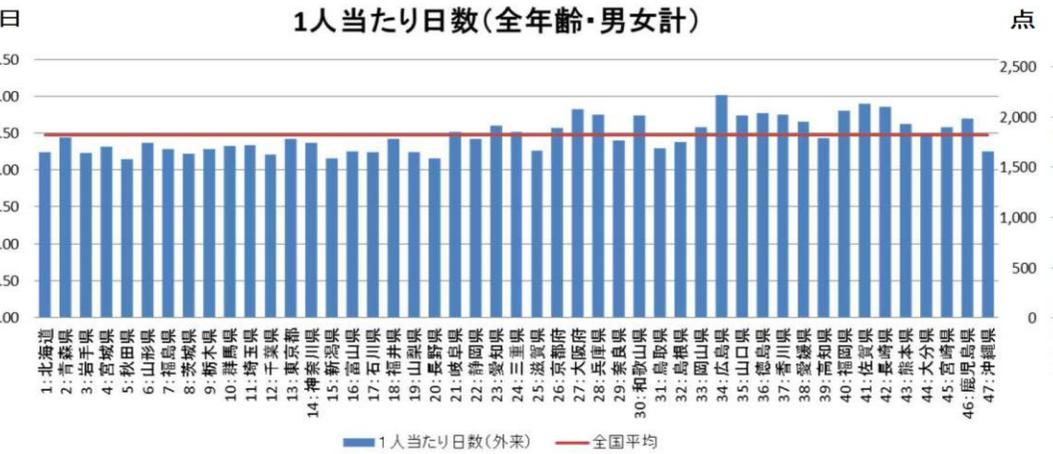
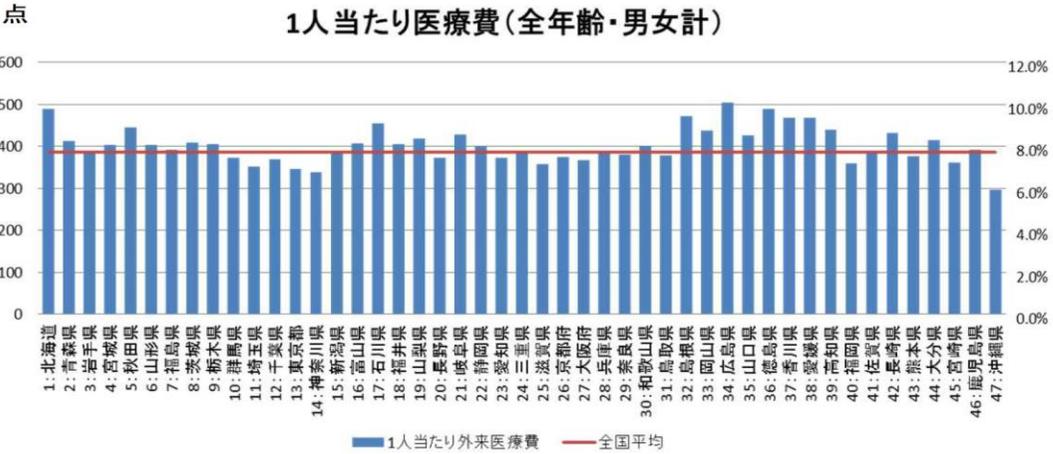


出典:連合会提供データ

7 糖尿病 外来医療費の分析

(1) 1人あたり医療費・受療率・日数・診療費

①糖尿病・全年齢・男女計

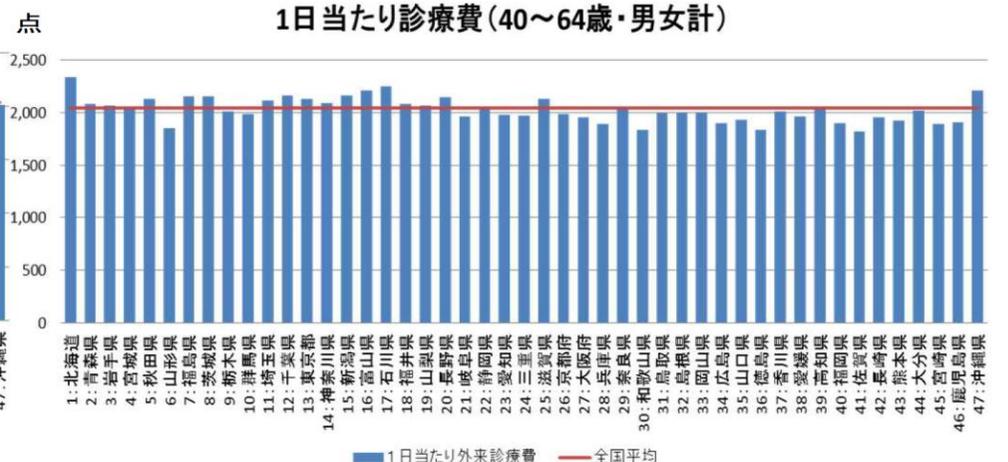
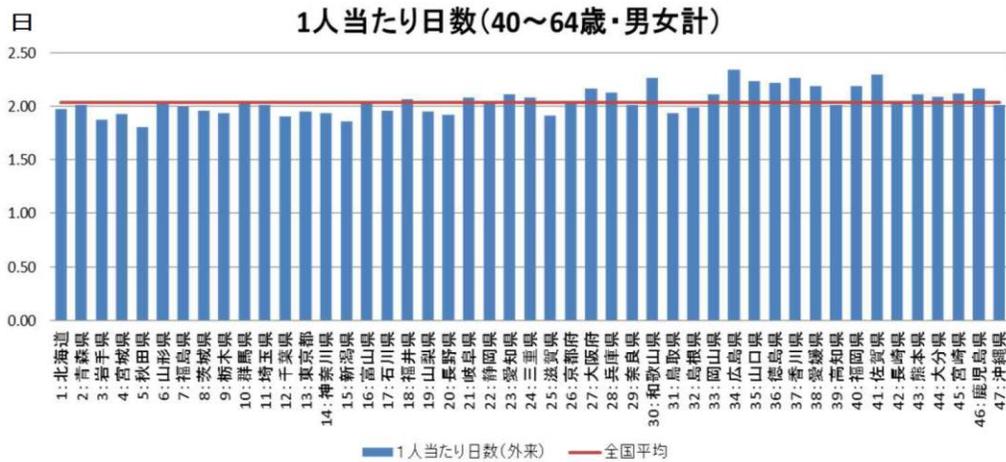
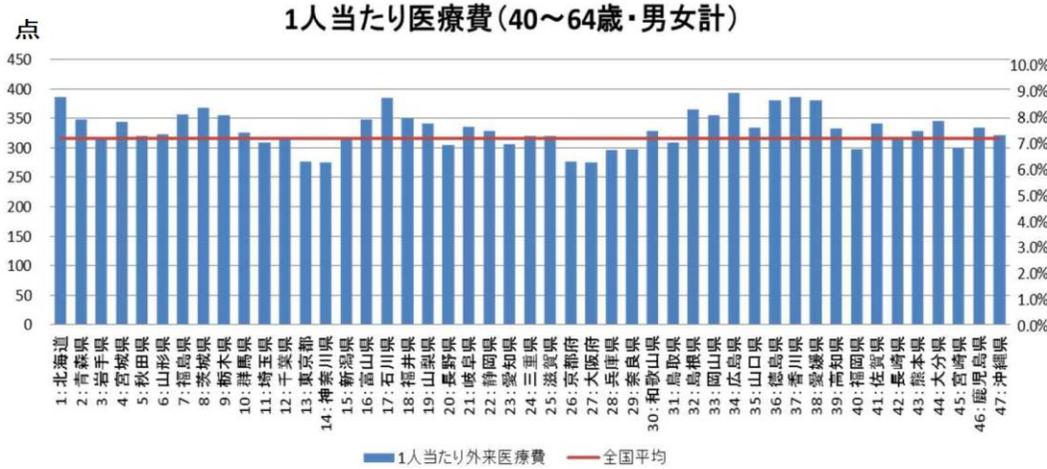


※平成 25 年 10 月の 1 か月分のデータを用いて分析。
 ※年齢調整を行っていない。

出典:第 94 回社会保障審議会医療保険部会(平成 28 年 3 月 24 日) 参考資料 4

(1) 1人あたり医療費・受療率・日数・診療費

②糖尿病・40～64歳・男女計

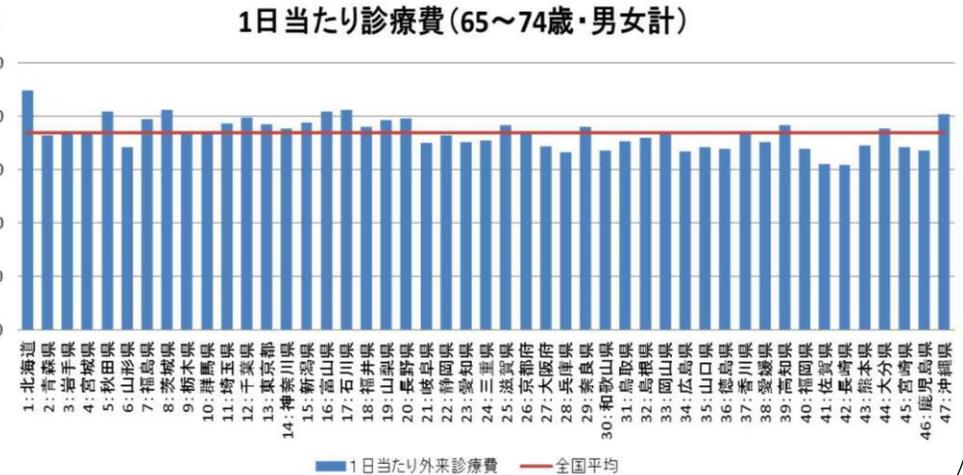
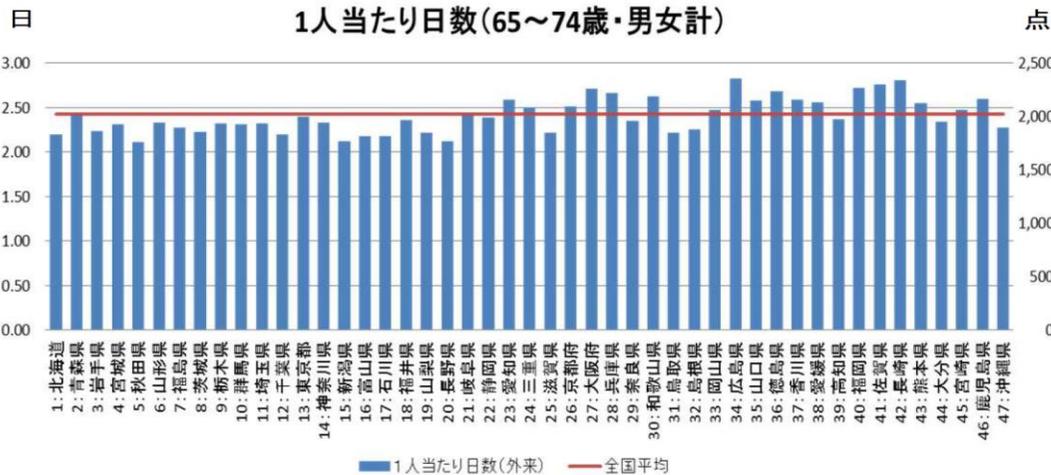
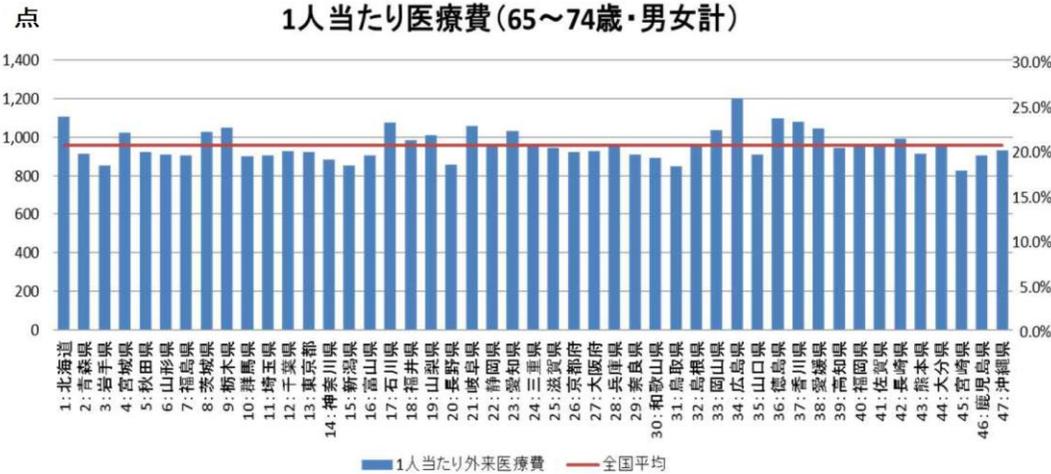


※平成 25 年 10 月の 1 か月分のデータを用いて分析。
 ※年齢調整を行っていない。

出典: 第 94 回社会保障審議会医療保険部会(平成 28 年 3 月 24 日) 参考資料 4

(1) 1人あたり医療費・受療率・日数・診療費

③糖尿病・65～74歳・男女計

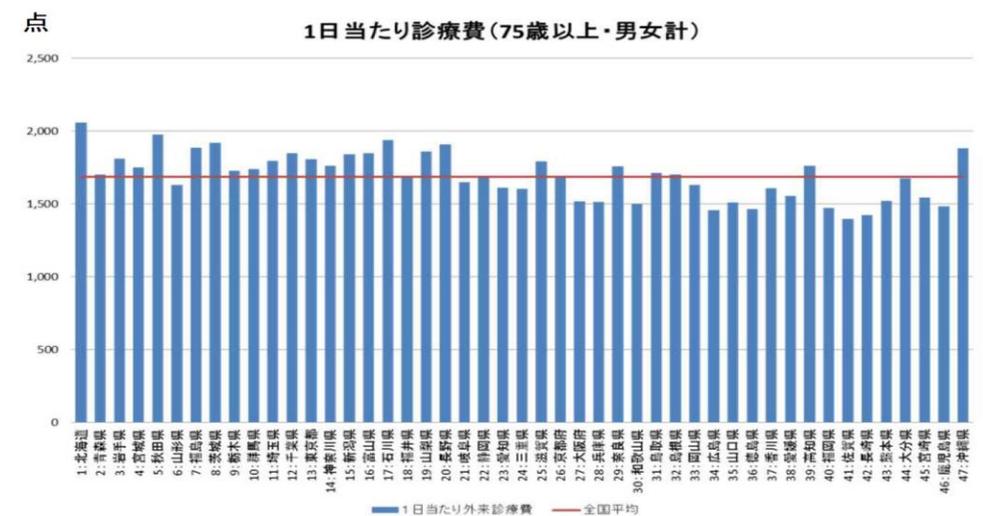
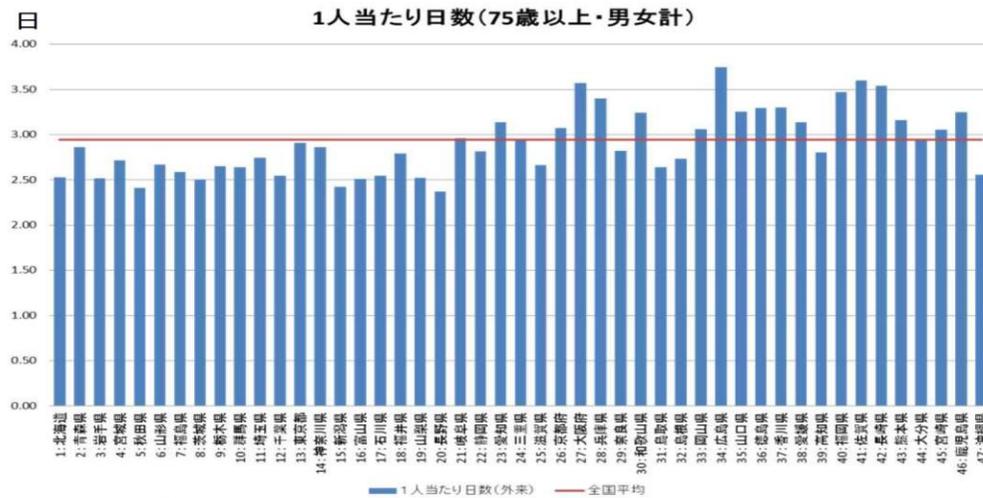
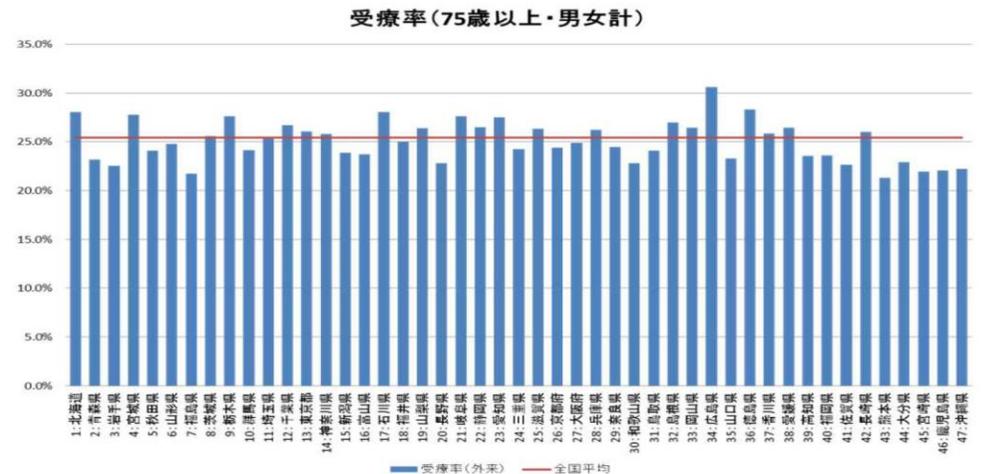
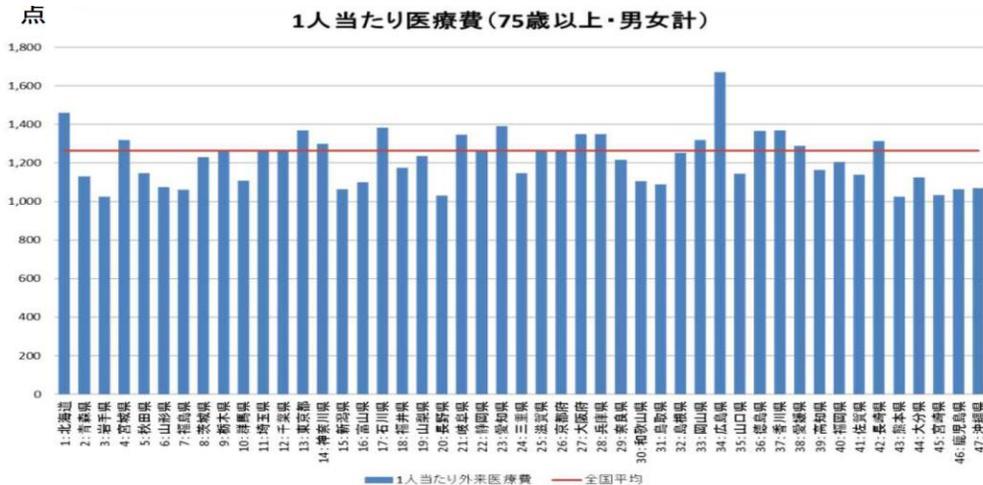


※平成25年10月の1か月分のデータを用いて分析。
 ※年齢調整を行っていない。

出典:第94回社会保障審議会医療保険部会(平成28年3月24日)参考資料4

(1) 1人あたり医療費・受療率・日数・診療費

④糖尿病・75歳以上・男女計



※平成 25 年 10 月の 1 か月分のデータを用いて分析。
 ※年齢調整を行っていない。

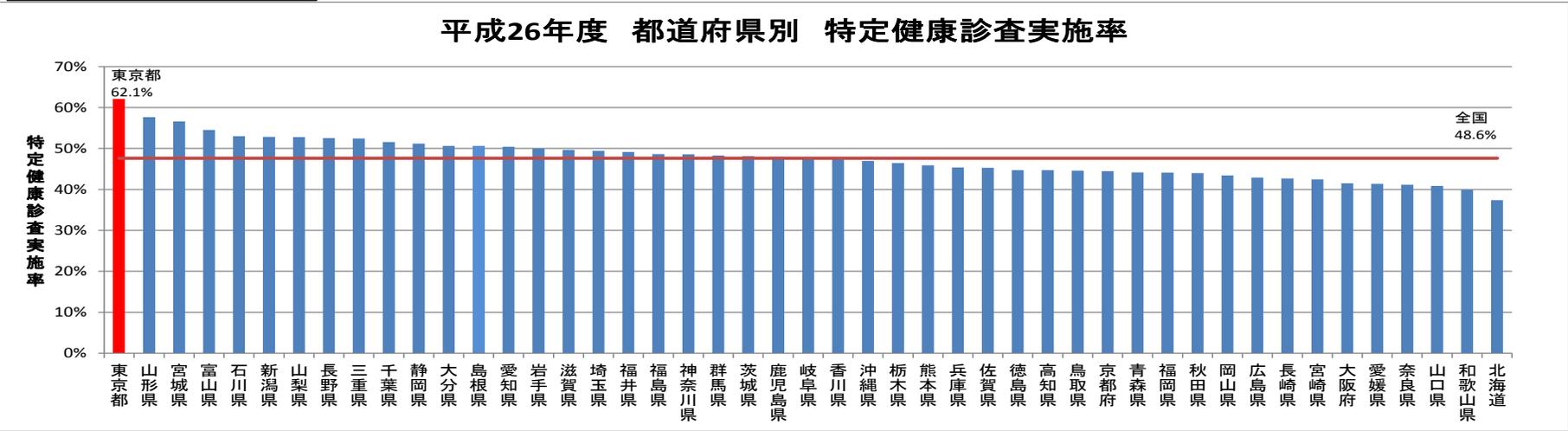
出典:第 94 回社会保障審議会医療保険部会(平成 28 年 3 月 24 日) 参考資料 4

8 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

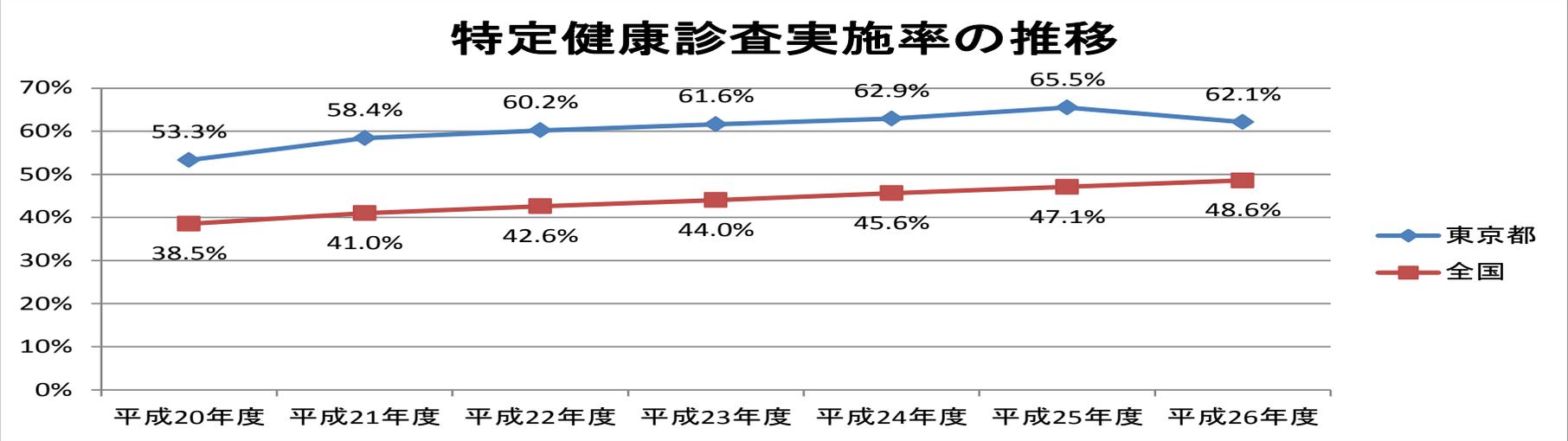
(1) 特定健康診査実施率

特定健康診査実施率

… 全国比較順位 1位 (62.1%)



特定健康診査実施率の推移

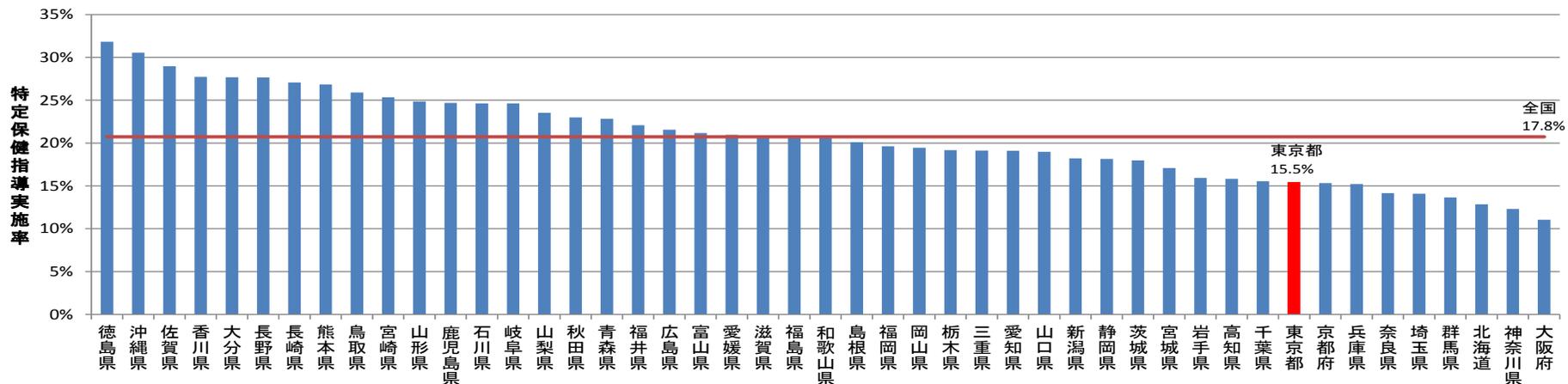


出典:「特定健康診査・特定保健指導の実施状況(平成20~26年)」(厚生労働省)

(2) 特定保健指導実施率

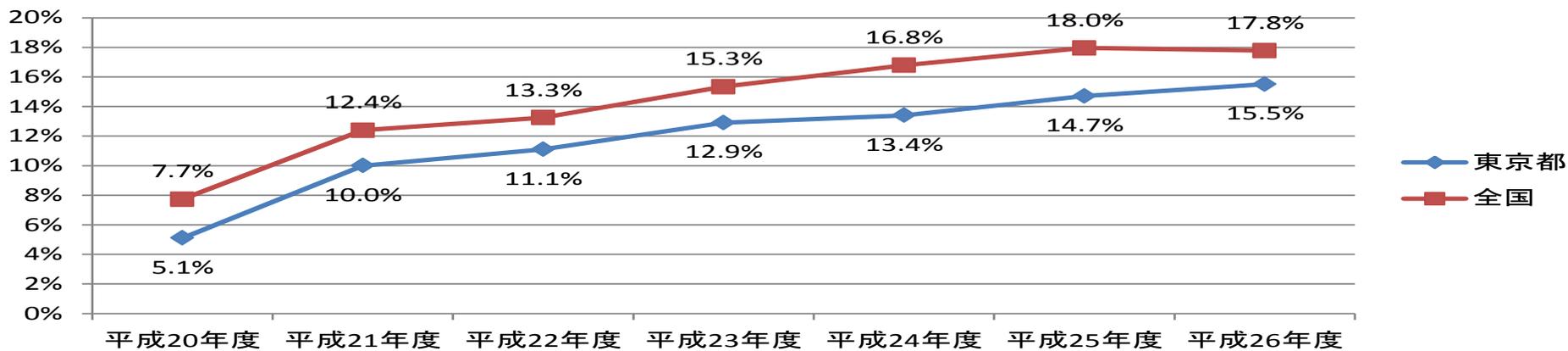
特定保健指導実施率 ……全国比較順位 39位 (15.5%)

平成26年度 都道府県別 特定保健指導実施率



特定保健指導実施率の推移

特定保健指導実施率の推移



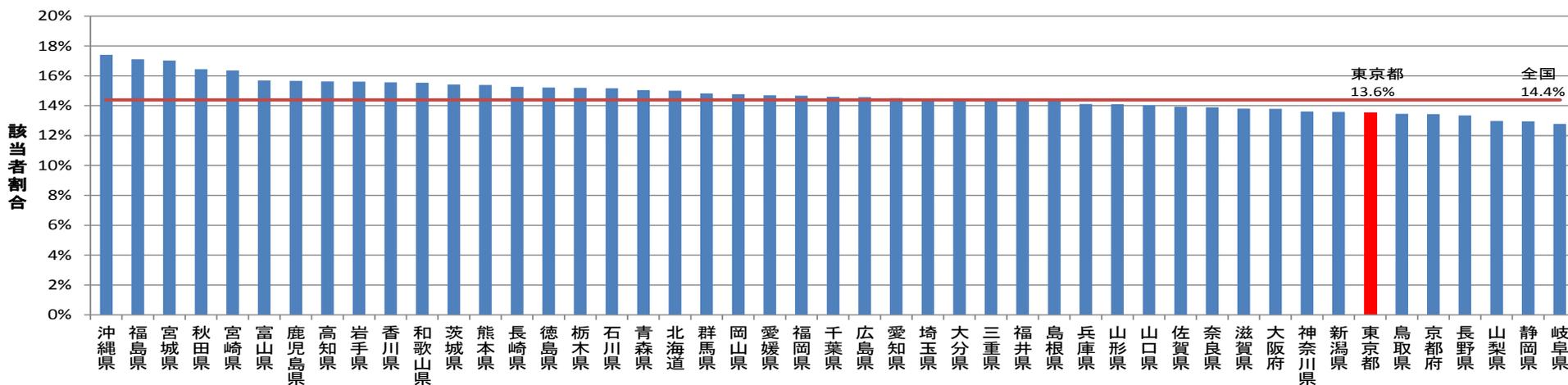
出典:「特定健康診査・特定保健指導の実施状況(平成20~26年)」(厚生労働省)

(3) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

メタボリックシンドローム該当者割合

…全国比較順位 41位 (13.6%)

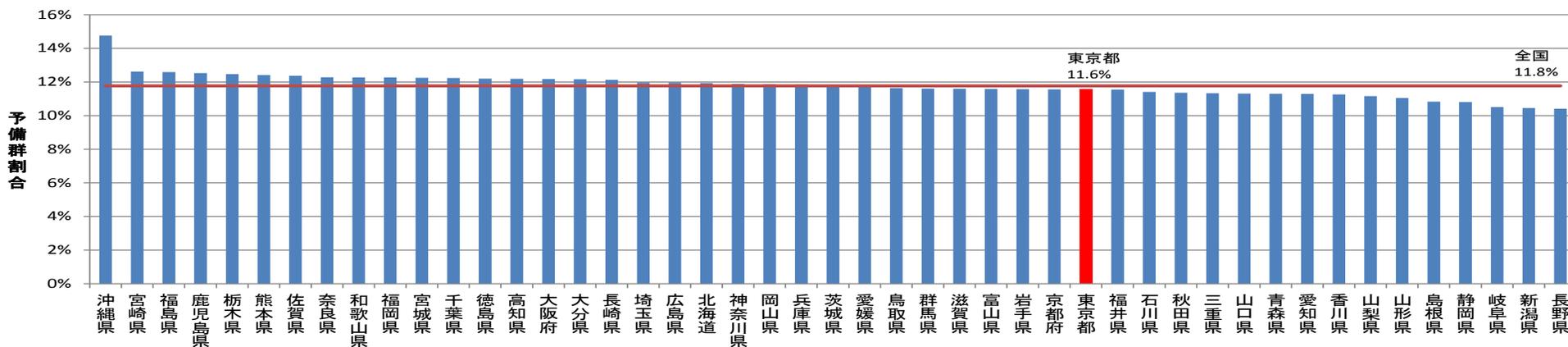
都道府県別 メタボリックシンドローム該当者割合



メタボリックシンドローム予備群割合

…全国比較順位 32位 (11.6%)

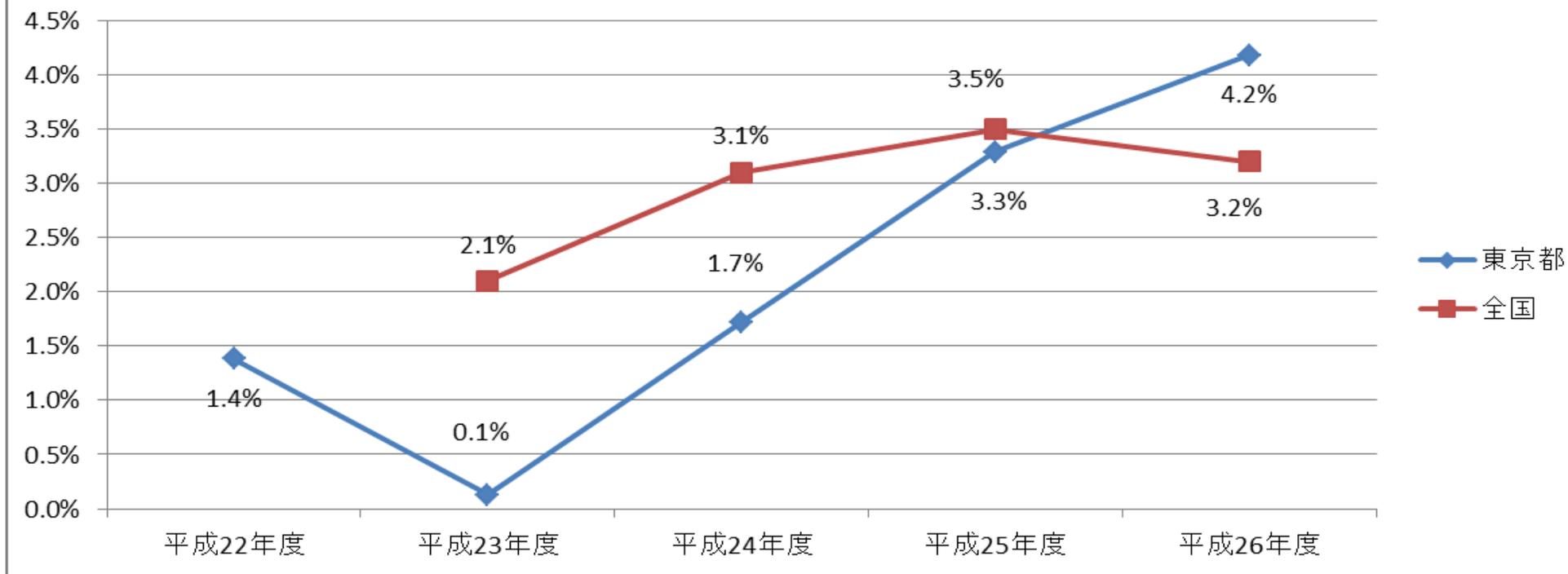
メタボリックシンドローム予備群割合



出典:「特定健康診査・特定保健指導の実施状況(平成26年)」(厚生労働省)

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率の推移

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 (平成20年度比)



出典:全国医療費適正化計画実績評価
第22回保険者による健診・保健指導等に関する検討会資料(厚生労働省)

○メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の実数を用いて算出した場合、年度毎の特定健診実施率の高低の影響を受けるため、特定健診受診者数に占めるメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を、住民基本台帳人口に乗じることで得られる推定数により算出。

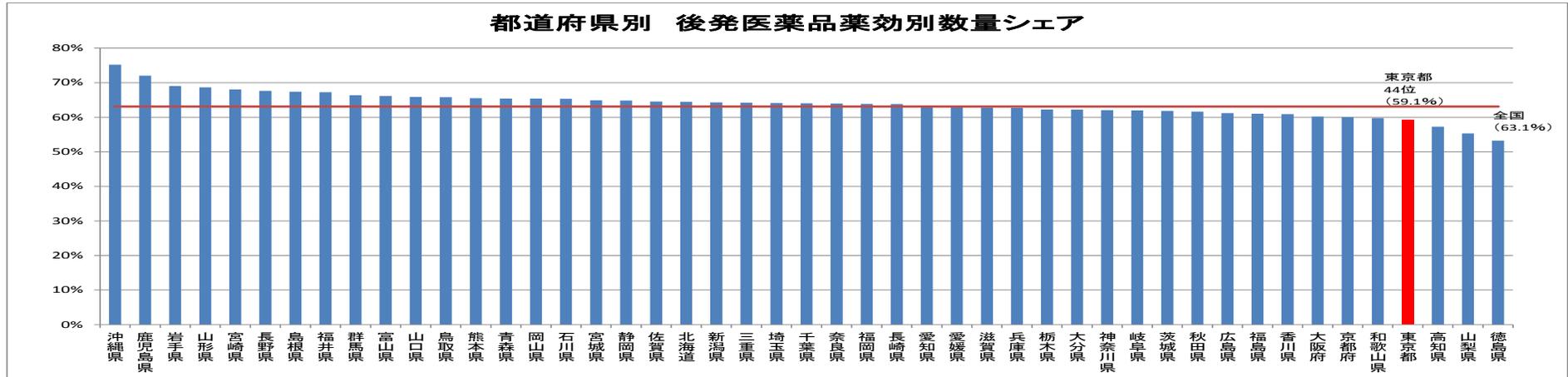
○また、年齢構成の変化(高齢化の効果)の影響を少なくするため、性・年齢階級(5歳階級)別に推定数を算出し、その合計により、減少率を算出。

○都の減少率算出における住民基本台帳人口については、平成25年度分までは東京都、平成26年度分は全国の数値を使用。平成26年度分は、厚生労働省によるデータクリーニング後の平成20年度実績を使用して算出。

9 後発医薬品の使用状況

(1) 後発医薬品薬効別数量シェア

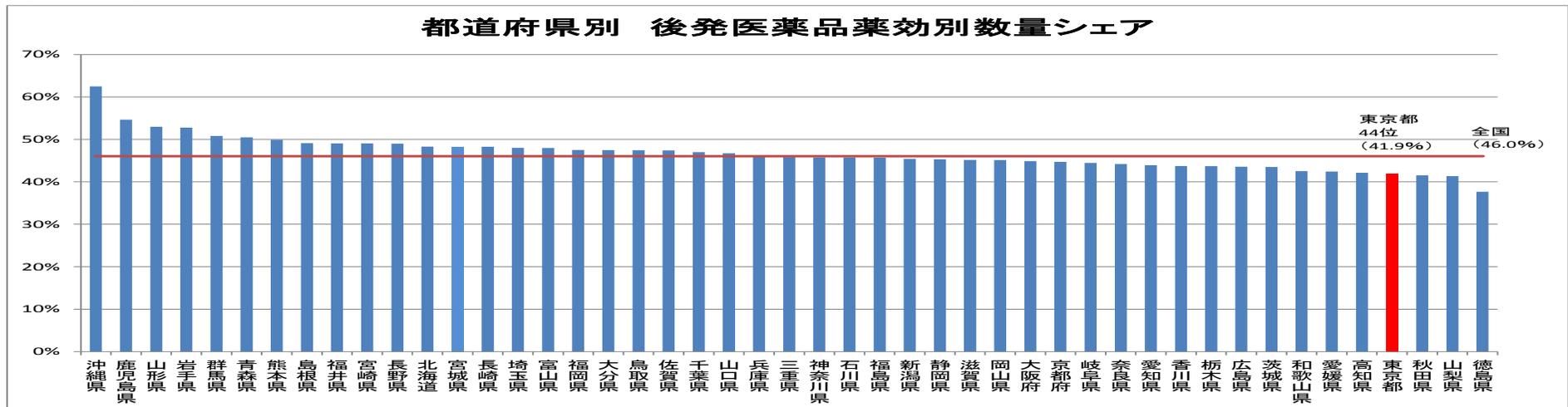
後発医薬品薬効別数量シェア(平成27年度) ……全国比較順位 44位 (59.1%)



出典:「調剤医療費の動向調査(平成27年度)」(厚生労働省)

後発医薬品薬効別数量シェア(平成25年度) ……全国比較順位 44位 (41.9%)

【国保+社保】(入院外)

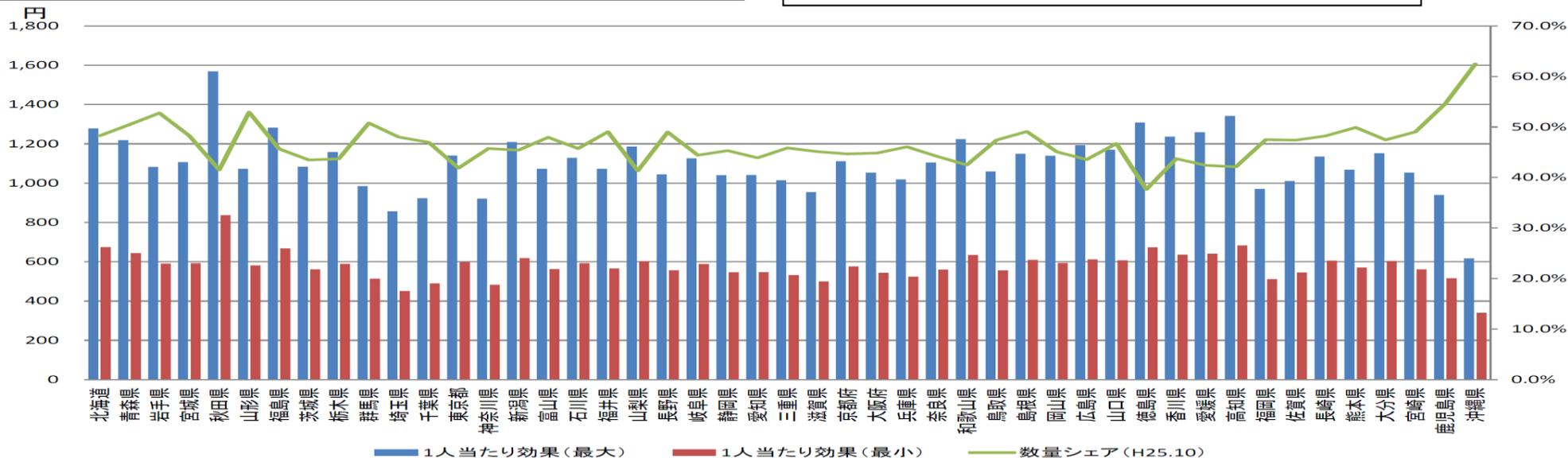


出典:「国データセット(平成25年10月)」(厚生労働省)

(2) 後発医薬品薬効別切替効果額

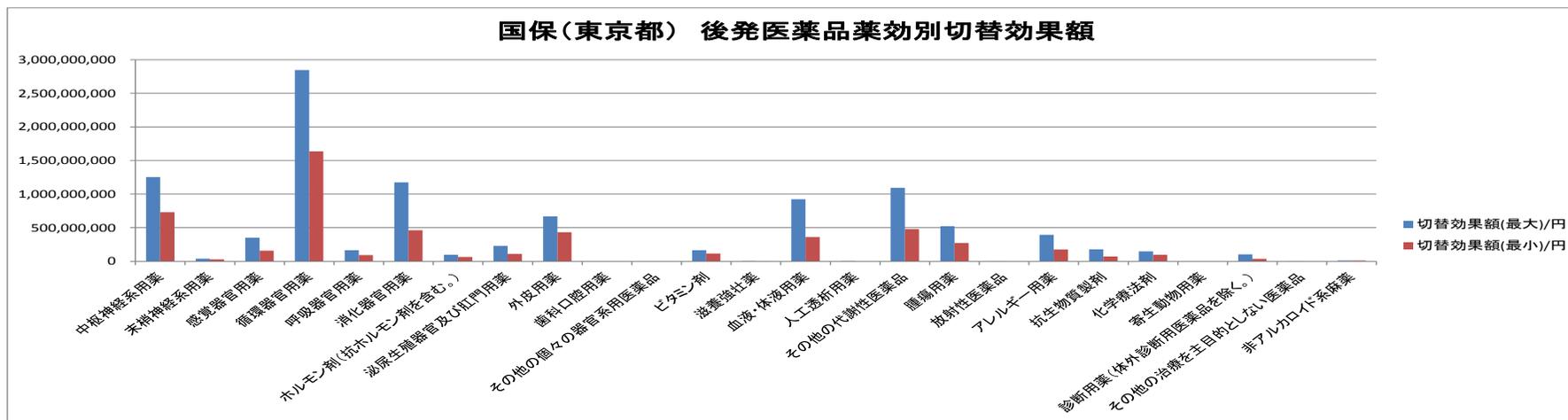
後発医薬品に置換えた場合のシミュレーションについて

○後発医薬品のある先発医薬品を、全て後発医薬品に置き換えた場合を仮定して、後発医薬品の価格に応じた効果額の最大値と最小値を集計したもの。
 ○平成 25 年 10 月の入院レセプトと調剤レセプトによる試算であり、都道府県ごとの人口による補正を行っている。



出典:「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第2次報告(平成 29 年 1 月 12 日)」

国保(東京都)後発医薬品薬効別切替効果額



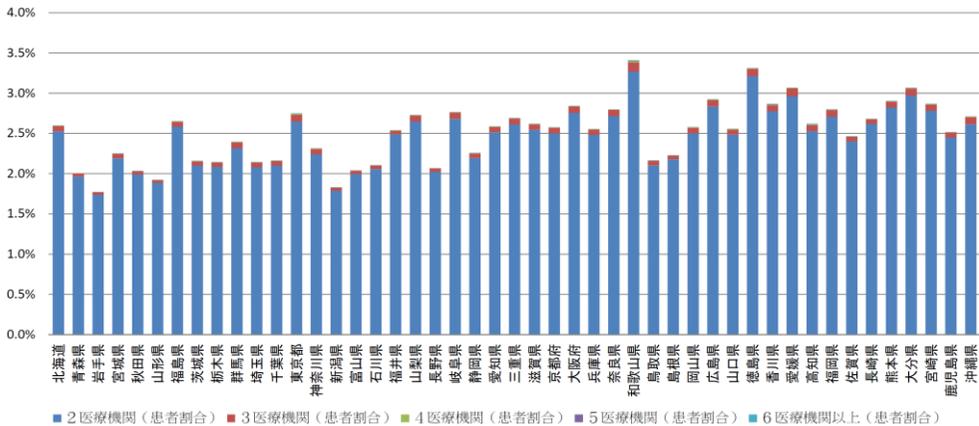
出典:「国データセット(平成 25 年 10 月)」(厚生労働省)

10 医薬品の投与に関する分析について

(1) 同一月内に同一成分の薬剤を投与された患者の割合

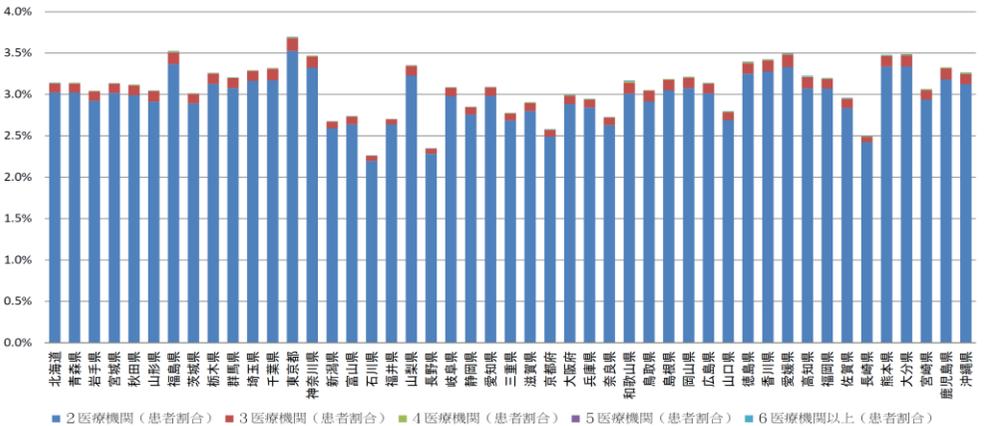
○各都道府県において、同一月に、同一成分の薬剤を複数医療機関から投与された患者(※)の割合をグラフにしている。

国保(市町村国民健康保険+後期高齢者医療)



(注)平成25年10月の入院外レセプト、調剤レセプトについて、患者住所地ベースで分析。

社保(被用者保険)

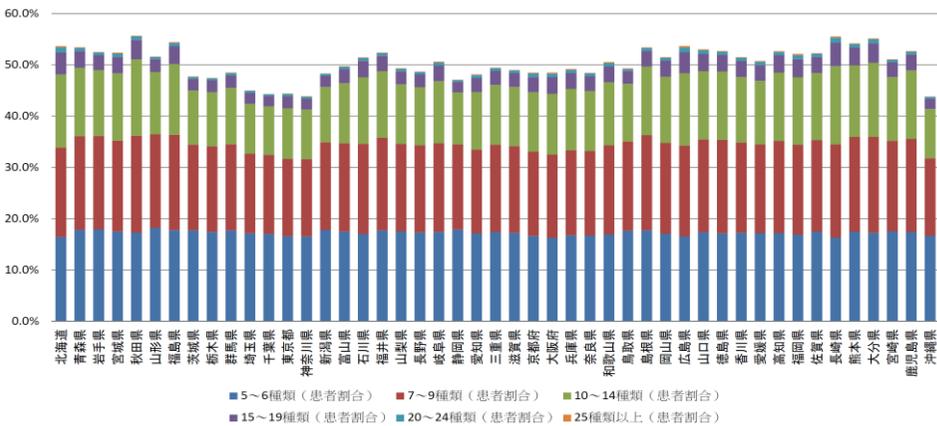


(注)平成25年10月の入院外レセプト、調剤レセプトについて、医療機関所在地、薬局所在地ベースで分析。
 ※患者Aがという薬剤を2医療機関から、bという薬剤を3医療機関から投与されている場合は、3医療機関として計上。

(2) 同一月内に複数種類の薬剤を投与された患者の割合

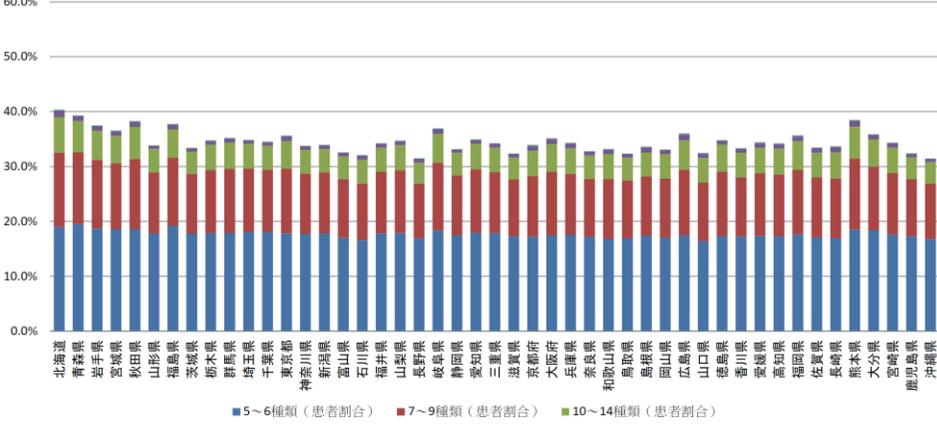
○各都道府県において、同一月に、複数種類の薬剤を投与された患者の割合をグラフにしている。

国保(市町村国民健康保険+後期高齢者医療)



(注)平成25年10月の入院外レセプト、調剤レセプトについて、患者住所地ベースで分析。

社保(被用者保険)



(注)平成25年10月の入院外レセプト、調剤レセプトについて、医療機関所在地、薬局所在地ベースで分析。
 ※複数種類の薬剤を投与された患者の、投与されたすべての薬剤の金額の合計。

出典:第94回社会保障審議会医療保険部会(平成28年3月24日)参考資料4